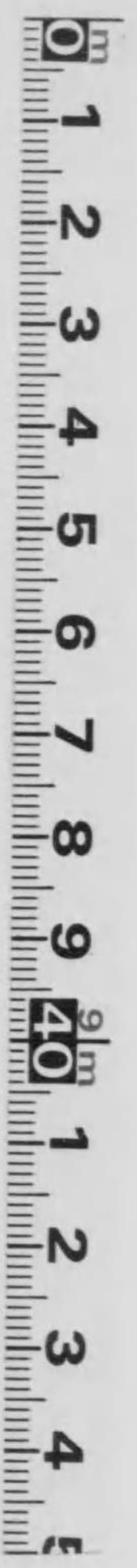


263.3

128



始





東洋女子大學  
創立委員長  
小出新次郎著

裁縫術新教授要書

發行所

東洋女子大學  
創立事務所內

出版部



緒論

敢て諸先生方の一考を煩さんと欲す。……………一

裁縫教授の成績の擧らざる三大理由。……………一

如何にせば圓滿なる女子教育の効果を奏し得べきか。……………六

各學年別教授練習總科目。……………八

目次

備考

(1) 尋三……………一九

(2) 尋四……………二〇

(3) 尋五……………二〇

(4) 尋六……………二〇

其の一 用意周到の意義。……………一九

其の二 時間の節約と宿題。……………二〇

其の三 冊体教授と類推教授。……………二一

雛尺即ち縮尺用途の誤解。……………二二

教授用掛圖の選擇。……………二六

裁縫専用の手帖。……………二七

如何にせば裁縫教師たるの職責を全ふし得べきか。……………二九

告

尋常三學年の教授練習度數表と週別教案。……………三三

教授の方法。……………三四

- (1) 素縫の準備教授と素縫教授。……………四五
- (2) 縫始、縫止、戻、くけ、はぎ、綴き。……………四四
- (3) 積り方、裁方、範標附教授。……………五一





備  
 (4) 野引算式裁方筥標附圖解に就て。……………五二  
 (5) 小裁襦袢の實物裁縫に就て。……………五六

考  
 其の一基礎たる素縫教授に就て。……………五七  
 其の二時間の節約と趣味の誘致。……………六八  
 其の三部分縫きりに關する利害。……………六九  
 其の四新教授法に關する經費。……………七〇  
 其の五敢て英斷を望む。……………七一  
 尋常四學年の教授練習度數表と週別教案。……………七二  
 教授の方法。……………七三  
 宿題と手帖の關係。……………七四  
 尋常五學年の教授の方法と週別教案。……………七五  
 教授の方法。……………七六  
 備  
 考  
 其の一掛圖の必要。……………七八  
 其の二如何にせば此の至難なる裾や袖口。……………八八  
 其の三裙形の使用に就て。……………八九  
 尋常六學年の教授練習度數表と週別教案。……………九〇  
 教授の方法。……………九一  
 掛圖 問 答。……………九二

九二……………一〇三  
 一〇四……………一〇五  
 一〇六……………一〇九

## 緒 言

回顧すれば明治維新以來茲に半世紀の歲月を經過し來たれる其間に於て我國の國威國光の進展は誠に顯著なる者あり。就中宇内強國の列に加はり得たるお如きは之を維新當時に比すれば殆ど隔世の感なき能はざるなり。是れ固より皇室の御稜威に基いするは勿論なり。雖亦以て國民齎しく努力して皇猷を扶翼し奉りたる結果に他ならず。然りと雖も。翻て我國現時の政治。經濟。外交。自治の各方面の狀勢より考察すれば。近く歐州戰爭の終局と共に當然起り來るべき經濟戰に對交するに臨みて。果して能く勝算あるべきか。思ふて茲に至れば甚だ寒心に耐へざる者あり。故に我國の將來をして益々光輝あらしめんと欲せば。其根本たる國民の反省奮起に俟たざる可か



らず。國民をして向上覺醒せしめんと欲せば、勢い教育の力に俟たざるべからず。果して然らば他日有爲の少年を撫育する重大の任務を負ふべき處の女子教育こそ誠に焦眉の急なりと謂はざるべからず。然るに我國現時の女子教育の状態は如何にと云ふに、歐米の夫れに比して甚だ缺序たる者あり。其原因何れに存するかと情々考究するに、我國古來の習慣として、假令眼に一丁字なくとも衣服裁縫の術を知らざれば女子たるの資格なき者の如く、斯科教授を重視し來りたる風習が今尙昨の如し。故に中等教育を授くる處の各女學校に有ても比格的多くの時間を斯道教授の爲に費しつゝ、有るにも關はらず其成績遅々として進まず自然圓滿なる女子教育の効果を奏する上に尠ながらざる障害をかもしつゝ、有は甚だ遺憾に堪へざるなり。

然り而して其根本に逆りて考查すれば、基礎教授たる小學校に於

ける斯道教授の成績の不善なる結果に他かならず。茲に於て小學校に於ける裁縫教授の不良なるは獨り貧家の女子にこりて不幸なるのみならず中等教育を施し得る良家の子女にこりても亦甚だ不幸なりと云はざるを得ず。就中夫れがため國家百年の長計たる將來の子弟教育の上に一大障害を惹起するの恐れ有と云ふに至りては斷じて黙過する事を得ず。然るに幸い吾人か二十有餘年間終始一貫して斯道教授の改善を期せん事に努力し來りたる結果。今や漸く其方法をして理想に近附け得たる者あり。之に因て聊かたりとも斯科教授改善の爲め裨益する處あらしめて圓滯なる女子教育の効果を奏する一助とも成る事を得ば、獨り著者望外の光榮たるのみならずと思意し。おぼけなくも今回茲に本書を公にするに至りたる所以なり。希くは吾人の微衰の存する處を諒とせられ一讀の勞を賜ほらば本懷の至に堪へざるなり。



著者 小出新次郎識

### 敢て裁縫科擔任の諸先生方の一考を煩は さんと欲す。

諸君は本書を通覽せらるゝと同時に、必ず先づ左の偽問を起さるゝで御座ひま



即ち本書では毎學期實物を一枚づゝ裁縫し得る事に爲し有が果して然様に出来るで有らふか。

又教授練習度數表で見ると縫方準備たる襷、くけと云ふ類ひの教授練習時間だけ餘分に成るか、是れは計算違ひでは無からふか。

又大底の種類の練習度數が三回、五回、或は七回、十回、と度數を重ねて練習せしむる事に成つて居るが「廻僅よ」時間や、二時でどうして然様に屢々繰返して、練習せしむる事が出来ようか。

又袷袖、綿人袖、裙、部分縫等を三時間或は四時間で教授し得る様に致して有が此の至難なる科目を始めて教授するに當り夫れしきの時間でどうして教授する事が出来ようか。

又縫方準備としての縫始、縫止、襷、くけ、と云ふ類ひの總べての時間を使用せずに素縫の練習中に狭みて僅かの時間で夫れを教授、練習せしめよと有るが此種類にも随分教授の至難なる者も有にどうして然様に僅かの時間で教授する事が出来ようか。



或は又積り方、裁方、箆標附教授を毎時一時間で出来得る様に説明して有が此の至難なる教授が何として一時間やそこらで教授する事が出来ようかと云ふが如き数々の偽問を起さるゝで御座います。いましうが私濟しは夫れを御答へするに先き立ちまして此の偽問を起さるゝ處の諸先生方に向つて御質問を試みまして夫れと同時に御答へ致します。

諸君は此實物裁縫を教授するに先き立ちて裁方、箆標附、に關する智識を如何なる方法を以て教授、練習して能く其の方法を理解させ類化せしめられますか一週僅に一、二時間と云ふ極めて僅少の時間で縮尺一つ使用せずに何として其方法を屢々繰返して徹底せる教授練習が出来ましょふや。其の方法を全級生徒の腦裡へ理解せしめずして實物裁縫の教授に係るがため自然實物を裁つて箆標附するだけでも四、五時間を費やして仕舞ふと云ふ有様では到底一學期間に二枚處か一枚の實物裁縫を終了する事も覺束なき次第で御座ひます。

又縫方準備教授としての躰、くけ、の類ひの教授練習時間が規定時間外の計算の様に御考へに成るは最も有りますが、此の科目は殊更の時間を使用せずに素縫教授中に狹みて教授且練習せしむる事と致し居りますゆへ決して規定外の時間を用する譯けでは御座ひませぬ。

又練習度數の多きは結好で有るが時間の關係上自然實行不可能の事であることの偽問に附ては從來の如く教材、教具、が不設備で有ては到底斯の如く數回の練習を重ねる事、絶対に不可能で御座ひま

す併しながら其の設備の全きを得て理想の教授、練習を爲して常に時間の節約を爲し得る以上は本書に規定せる處の練習度數を繰り返へさしむる事は又決して難事では御座ひませぬ。

又袖、裙、等の部分縫教授に附ては如何なる方法を執り居られますか此の至難なる教授を爲すに當りまして、掛圖一つ使用せずに四十人なり五十人なりの一團體の生徒も向て何として一濟に教授する事が出来ましょふや故に掛圖一つ使用せざる向は勢ひ個人的教授に依るの外か致し方なき次第で御座ひますが斯くては到底三時間や四時では恐らく教授する事は出来ますまい。

又縫方準備教授に就きましても諸君は如何なる教材、教具、を以て教授致されますか是れ又掛圖一つ使用せずに教授する様な事では素縫中に狹みて僅少の時間で教授する事は恐らく出来ますまい其甚敷一、二の實例を擧げて見ましょふなれば縫糸、くけ糸等をつなぐ方法として、よりつなぎ。はたむすび等の如き方法を教授する爲に二時間三時間を費やして漸く其の方法を理解せしめたと云ふ實例は從來澤山見聞致し居る次第で御座ひますが是れ等の總べての方法を教授するに當りまして、掛圖を使用致しますれば仮令七十人か百人を一團體と爲して一濟に教授致しました處で何の譯けなき仕事で御座ひます。

又積り方、裁方、箆標附の準備教授を致しまするには如何なる教材、教具、を用ひ居られますか



手帖と申せば白紙手帳で有がため教師が黑板上に書きし裁切、範標附圖解の如きを寫し取らしむる斗りにも非常の時間を費消せしめて而も其の寫し取りし圖は甚だ拙劣にして其の甚數に至りては原圖とは全然相違せる様の者を寫し出せる生徒も少なからずして他日の自習用にも宿題參考用にも爲し能はざる様な騰寫を爲さしむるが如き有様では到底我濟しの主張と一致する譯けには參りませぬ又裁方、範標附に關する準備教授を致しまするに附きましても、鯨尺、四分の一教授とか申す様な面倒なる教授を爲したり然らざるも狭き教場へ實物大の用紙を持ち出して大きはぎして教授する様な事では一時間が二時間でも完全に教授する事は覺束なき次第で御座ひます。

又諸君は宿題を課することを御實行成しおられますか如何に教材、教具の設備を調へまして教授練習時間を節約致しましたればとて夫れのみでは我濟しが主張するが如き理想の教授訓練は致し難き次第で御座ひます故に毎週一回宿題を課し(易きは五分間、重きは十分間位)茲に始めて徹底せる處の教授訓練即ち精神教育にまで思ひを致す事が出來得るので御座ひます故に我濟しが主張致す様な理想の教授、訓練を致しまして天晴教師たるの本分を全とふ致そふと思ひますれば左記の三大要義を寸時も忘却しては成りませぬ。然れば其三大要義とは如何なる者かと申しますば。

- 先づ第一が。時間の節約。 第二も又。時間の節約。
- 第三も又。時間の節約。……………即ち是れで御座ひます。

### 小學校に於ける裁縫教授の成績の擧らざる三大理由。

斯科教授の大部分は個人的教授の性質を有する者なるを以て自然個人的教授に流れ易く知らず識らずの間に時間を空費して最も貴重なる練習時間を減去し唯々新規教授に吸々たるに起因す。

#### 其の一

團體教授即ち一濟教授の方法確立し居らざるため教授練習共に極めて時間を不經驗に費消するのみならず夫れがため總ての方法を全級生徒の腦裡へ完全に理解せしむること能はざるに起因す。

#### 其の二

教材教具の撰擇を誤り居る結果徒らに時間を空費するに止まり多くの場合に於て教師の努力は全然徒勞に歸するを常とす是れ其の成績の擧らざる最大原因なり。

#### 其の三



## 如何にせば圓滿なる女子教育の効果を奏し得べきか。

情々現時の社界状態を考察するに文明の副産物とも云ふを得べき虚榮に有ざれば虚偽の結晶とも見るを得べき行爲は、時々刻々兒童の眼前に展觀せられ兒童教育のため少なからず危険を感ず、就中女子教育の上に於て一層其の甚敷者あり、此の時に於て毫も社界の悪影響に感染せしめずして正道に導くは、教育者の當然の任務ならんと確信す、果して然らば何れの學科目の擔任者たるを問はず共力して其の任務を全ふせざる可からず。

然り而して身心の陶冶即ち忍耐、謹勉、節約、利法、清潔、整理、綿密等の如き精神的訓育の實踐を爲さしむる教材としては、恐らく斯科教授の右に出る者は斷じて是れなかるべしと信す、然ば即ち裁縫教師たるが故に裁縫術の成績を可良ならしむれば足れりと思爲すが如きは、唯に女兒等に執て不親切なる行爲たるに止まらず、自己の職責を辱しむる者と云はざるべからず、故に圓滿なる女子教育の効果を奏さんと欲せば裁縫教師たる者すべからず、他學科の教授者と共力して女子の徳性を涵養する事に努めざるべからず、然りと雖も現時の如く單に自己表面の職責たる裁縫教授の成績すら毫も見らざるべき實跡擧らずして、年々歳々其の年度の常規教授に、汲々として前年の

教授科目の練習すら爲さしむべき時間の餘融を産み出し得ざるが如き、現時の教授状態にありて、附隨責任たる身心の陶冶に迄思を致さんとするは、絶對に不可態の事に屬す、然りと雖も女徳を涵養する上に於て、斯科教授が唯一の好材料で有る以上は、裁縫教師たる者は大いに奮勵努力して、教材、教具の撰擇は更なり、教授、練習方法を益々改善して、斯科教授の完成を期すると共に、身心の陶冶即ち精神訓育の上に於ても大いに努力して、圓滿なる女子教育の効果を奏し得るよう努めざるべからず。







### ●備考

以上列記する種類を以て尋常三學年中の教授練習科目であります。學校教育を受くること僅かに三ヶ年目にして、年齢より申せば僅かに拾才前後の極めて無邪氣なる女兒に向つて、此の無趣味なる術科を、而も一週僅かに一時間若しくは二時間と云ふ極めて切つめの時間を以て教授練習せしめて、相當の成績を擧げんとするは却々に至難の業で有ます。然しながら尋常六學年の終りまでに、仮令小裁類だけなりとも單衣、袷、綿入の長着類を自由に裁縫し得る實力を授けんと欲せば、勢ひ本學年度中に是非とも前記の種類を教授且練習せしめて、能く其の方法を理解せしむるよう努力致さねば相成りませぬ。夫れには擔任教師は、教材、教具の選擇を始め、教授練習方法に於ても、要意周到でなくては叶ひませぬ。故に其の方法に附ては頁を追ふて詳述致します。

### 尋常四學年

第一學期より第三學期に至る

### 教授練習總科目

- (1) 衣服裁縫の要旨と器具材料の整理。
- (2) 前年度の主要部分の練習科目。

其の一、素縫。練習科目。1 通常素縫、2 斜線素、3 弓狀素縫、

4 十字素縫、5 速針素縫、(教具) 掛圖、素縫ぎれ。

其の二、縫方準備、練習科目。

1 單衣裙先、2 内襪、外襪、3 並はぎ、4 割はぎ、

5 よりつなぎ、6 單衣くけ方、7 はたむすび、8 角袂、

9 返し縫、10 綿入くけ方、11 袖口かけ、12 附紐かざり、

13 單衣脇こじ、14 背守縫方、補綴、(教具) 掛圖。素縫ぎれ

其の三、裁方、篋標附、練習科目

1 一ツ身襦袢の裁方、篋標附 (教具) 縮尺と古新聞紙

(3) 部分縫教授練習科目。

其の一、單衣袖、(教具) 掛圖、素縫ぎれ。

(4) 積り方、裁方、篋標附及縫方、教授練習科目。

其の一、三ツ身襦袢、積り方算式、裁方罫引 (教具) 特製手帖。



其の二、三ツ身襦袢裁方、篋標附 (教材) 鉛筆、篋、縮尺と古新聞紙。

其の三、一ツ身襦袢、實物裁縫 (教材) 實物用布と、普通裁縫道具 掛圖。

其の四、三ツ身襦袢の實物裁縫 (教材) 實物用布 裁縫道具 掛圖。

其の五、四ツ身襦袢の積り方算式、裁方罫引 (教材) 特製手帖。

其の六、四ツ身襦袢裁方、篋標附 (教材) 縮尺と古新聞紙。

其の七、四ツ身襦袢の實物裁縫 (教材) 實物用布 裁縫道具 掛圖。

其の八、一ツ身單衣積り方算式、裁方罫引 (教材) 特製手帖。

其の九、一ツ身單衣裁方、篋標附 (教材) 縮尺と古新聞紙。

其の十、一ツ身單衣實物裁縫 (教材) 實物用布と掛圖。

其の十一、三ツ身單衣積り方算式、裁方罫引 (教材) 特製手帖。

其の十二、三ツ身單衣裁方、篋標附 (教材) 縮尺と古新聞紙。

### ◎備考

以上は尋常四學年中の教授練習科目で有ますが、是又尋常三學年に劣らぬ難事有ます。然しながら前にも述べし通り六學年の終りまでに、秩序ある教授練習を爲さしめて、既定科目を完全に修得せしむると共に、小學校令の本旨に基ける處の、教授訓練を爲して、教師たるの本分を全ふせんと欲せば、是非其本學年中に於て、前記の實力を具へしむるよう、努力致さねば相成ませぬ、尙ほ其の方法に附ては、頁を追ふて詳述致します。

### 尋常五學年 第一學期より 第三學期に至る 教授練習總科目。

(1) 器具、材料の整理と要所質問。

(2) 前二ヶ年間の主要部分の練習科目。

其の一、各種素縫。

1 通常素縫、 2 速針素縫、 3 斜線素縫、

4 弓狀素縫、(教材) 掛圖、素縫ぎれ。



其の二、縫方準備練習科目。

- 1 襷、くけ。
- 2 袖口かけ、
- 3 補綴、
- 4 単衣脇ごじ。
- 5 附紐かさり。(教具)掛圖、素縫され。

其の三、裁方、箆標附、練習科目。

- 1 一ツ身単衣、裁方、箆標附。(教具)縮尺と古新聞紙
- 2 三ツ身単衣、裁方、箆標附。(教具)縮尺と古新聞紙

(3) 部分縫教授、練習科目。

- 其の一、丸袂造り方、(教具)掛圖、素縫され。
- 其の二、本袖口かけ、(教具)掛圖、素縫され。
- 其の二、綿人袖部分縫、(教具)掛圖、部分縫され。
- 其の四、裙、部分縫、(教具)掛圖、部分縫され。

(4) 積り方裁方、箆標附及縫方、教授、練習科目。

- 其の一、四ツ身単衣積り方算式、裁方罫引。(教具)特製手帖。
- 其の二、四ツ身単衣裁方、箆標附。(教具)縮尺と古新聞紙。
- 其の三、三ツ身単衣實物裁縫。(教具)實物用布と掛圖。
- 其の四、四ツ身単衣實物裁縫。(教具)實物用布と掛圖。
- 其の五、一ツ身綿入積り方算式、裁方罫引。(教具)特製手帖。
- 其の六、一ツ身綿入裁方、箆附。(教具)縮尺と古新聞紙。
- 其の七、一ツ身綿入實物裁縫。(教具)實物用布と掛圖。
- 其の八、本裁單衣裁方、箆標附。(教具)縮尺と古新聞紙。
- 其の九、三ツ身綿入積り方算式、裁方罫引。(教具)特製手帖。
- 其の拾、三ツ身綿入裁方、箆標附。(教具)縮尺と古新聞紙。
- 其拾一、三ツ身綿入實物裁縫。(教具)實物用布と掛圖。



### ●備考

以上は尋常五學年の教授練習科目で有ますが、是れ又秩序ある教授練習を爲さしめて、相當の實力を具へしめんと致しますれば、却々至難の業で御座ひます、併しながら前二ヶ年間の教授練習の方法、其の宜敷を得て、本學年に達しますれば、大部分は既知の部に屬しますゆへ、然のみ困難の者では御座ひませぬ。

### 尋常六學年

第一學期より  
第三學期に至る

### 教授練習科目。

(1) 器具、材料の整理と要所質問。

(2) 前三ヶ年間の主要部分の練習科目。

其の一、各種素縫、練習科目。

1 通常素縫。 2 速進素縫。 3 斜線素縫。(教材) 掛圖、素縫ぎれ。

其の二、縫方準備、練習科目。

1 襷、くけ。 2 本袖口かけ。 3 附紐かざり、背守。(教材) 掛圖、

素縫ぎれ。

其の三、裁方、箆標附、練習科目。

1 一ツ身襦袢裁方、箆標附。 2 三ツ身襦袢裁方、箆標附。

3 四ツ身襦袢裁方、箆標附。 4 本裁襦袢裁方、箆標附。

5 一ツ身單衣裁方、箆標附。 6 三ツ身單衣裁方、箆標附。

7 四ツ身單衣裁方、箆標附。(教材) 縮尺と古新聞紙。

其の四、實物裁縫、練習科目。

1 一ツ身單衣實物裁縫。(教材) 普通裁縫道具と實物用布。

2 三ツ身單衣實物裁縫。(教材) 同 上。

3 四ツ身單衣實物裁縫。(教材) 同 上。

其の五、部分縫、練習科目。

1 綿入袖。 2 裙。 3 袷袖。(教材) 掛圖、部分縫ぎれ。

(3) 積り方、裁方、箆標附、及縫方教授、練習科目。



- 1 本裁女物單衣積り方算式、裁方罫引。(教具) 特製手帖。
- 2 本裁女物單衣裁方、篋標附。(教具) 縮尺と古新聞紙。
- 3 本裁男物單衣積り方算式、裁方罫引。(教具) 特製手帖。
- 4 本裁男物單衣裁方、篋標附。(教具) 縮尺と古新聞紙。
- 5 四ツ身綿入積り方算式、裁方罫引。(教具) 特製手帖。
- 6 四ツ身綿入裁方、篋標附。(教具) 縮尺と古新聞紙。
- 7 一ツ身綿入實物裁縫、(教具) 實物用布と掛圖。
- 8 三ツ身綿入實物裁縫。(教具) 實物用布と掛圖。
- 9 四ツ身綿入實物裁縫。(教具) 實物用布と掛圖。

### ●備考

以上は尋常六學年の教授練習科目で有ますが、幸に前三ヶ年間の教授の方法、其の宜敷を得て秩序的完全せる教授と練習を致して有ますれば、本學年に至りましては、比較的教授も樂で有まして、自然成績も相當に擧げ得らるべき者で御座ひますが、不幸

にして前三ヶ年間の成績が甚だ不良で有と致しますれば、本學年に至りまして急激に其總べての科目を總勘定的に、教授練習致そうと致しました處で、夫は絶対に不能の事に屬します、夫れゆへ此の學年に至りまして、既定の教授科目の種類は生徒自身の手で、自由に應用し得る實力を備へしめて、常に裁縫教授の成績を可良ならしむるのみならず、身心の陶冶即ち精神教育にまで力を致して、天晴教師たるの本分を全ふ致そふと思はるゝなれば、毎學年、學期の教授練習に努力するは勿論で御座ひますが、其出發点たる、尋常三四學年の當時に於て、充分努力致しおく必要が御座ひます。

### 用意周到の意義

茲に特筆大書して注意致しおき度は前にも述べました、用意周到と云ふ言葉の意義で御座ひますが、此用意周到と云ふ意義は、普く教授練習の場合に於ても忘るべからざる言葉の意義で御座ひますが、就中教材、教具の撰擇などを致す事に付ては、一層用意周到でなくては叶いませぬ。

又教師がひとたび教段の上に立ちし時は、全級生徒の視線を同時に教師の身邊に集らしむるよう、常に習慣を附けおかんと致すのには、やはり平素の教授訓練に於て用意周到で無くては到底其の効果は、顯はる可きものでは御座いませぬ。

又練習を爲さしむる場合に於て、夫を教場爲さしむるに致せ、或は亦宿題として課



する場合に致せ、其の種類の難易によりて、練習度数を増減し、或は又ある種の如きは既に學修し得たる甲の種類の智識を應用して、獨力で爲し得ると云ふ見込が確實に立ち居る種類に附ては、其教授練習の時間を、はぶきて他の必要なる種類の教授或は練習時間に使用するように致すべきで御座いますが、夫れ等の撰擇に附きましても常に用意周到なる注意を要する次第で御座います。

### 時間の節約と宿題。

次は宿題の事で有ますが、何れの學科に致しましても、しばしば練習せしめようと致しますれば、時間の節約上是非とも此の宿題を課する必要が御座います。然るに比較的毎週の教授時数の少ない此の裁縫教授に限り、餘り宿題を課すると云ふ事を承知致しませぬが、出來得る限り時間を節約して二度の練習は三度に三度のものは四度練習せしめて技術の發達を圖ると共に、其の方法を完全に生徒の腦裡へ、理解せしめんと致しますれば、是非とも宿題を課するの必要を生じ來ります。

### 團體教授と類推教授。

以上述べ來りましたる通り一週僅かに二時間といふ極めて僅少の時を以て教授且練習せしめて能く全級生徒の腦裡へ、類化せしめ理解せしめんとするは、難事中の難

事と申さねば相成ませぬ、併しながら其の成績の擧らざるがため、常に教授者たるの責任が立たざるのみならず、圓滿なる女子教育の効果を奏する上に於て、尠なからざる障害を惹起しつゝ、有る事は、識者の常に痛嘆して止まざる處であります。故に斯道教授の任に當り居る者は、其の職責に顧みて大いに努力致さねば相成ませぬ、然れば如何なる方法によらば理想の成績をあげ善良なる効果を奏し得べきかと申すれば、無論團體教授と類推教授の二方法によりて、第一に教場の整理を爲し、極めて時間を節約して、練習時間を産み出し、前年、前々年に於て、教授せし種類の練習を確實に行せしめて、一とたび教授せし種類は忘れんとするも、忘るゝ事能はざる迄に、十分其の方法を、生徒の腦裡へ類化せしめ、理解せしめねば相成ませぬ。

### 雛尺 即ち縮尺用途の誤解。

此の縮尺の用途に付ては從來一般が大いに誤解し居りたる様で御座いますから、其事を一言申述べます。元來縮尺の要は時間と費用を省ぶく爲に普通の鯨尺に代つて生れた者に相違御座いませぬが、去りとて此の縮尺の主なる目的は、雛形を造る爲の道具では御座いませぬ、此の縮尺で九寸五分若しくは尺巾に、古新聞紙が何にかを以て、巻紙様の物を造りおきまして、夫れで裁方範標附の方法を、教授練習せしむる爲の道具で御座います。一般が考へて居る様に、衣服の雛形を造ると云ふ目的から生れた



物では断じて御座いませぬ、然るに夫れを誤解し居る方面より言はせますると、縮尺を用いて雛形を造らしたからとて、決して技術の進歩發達を見る事は出来ぬと云ふて、頭から縮尺を排斥して居るので有ますが、夫れが抑大いなる誤解と申さねば相成りませぬ、固より雛形を造らせたからとて、技術の進歩發達を圖り得ざる事は、始より判明して居る事柄で有ますから断じて雛形を造らしむるには及びませぬ、併しなから縮尺を持たせたからとて、必ずしも雛形を造らせねばならぬと云ふ理由はないので有ますから、縮尺は縮尺として教授上利益ある方面の事に使用して、夫れから實物裁縫に關する時、或は又縫方に屬する分解教授を爲す場合の如きは、普通の鯨尺と實物の用布とを以て教授練習せしむれば可いでは有ませぬか、夫れを頭から縮尺を除外けて裁方範標附等を教授練習せしむるのには、如何なる方法を執る積りで有ますようか、一々實物の布を切り捨ると云ふ事は、到底父兄の堪へ得らるべき者では御座いませぬ、假令古新聞紙か何かを、はぎ合せて、布に代用すると致しました處で、狭き教場で、五十人七十人へ、一濟に教授する事が出来ましようか、誠に見易き道理では御座いませぬか、然ればこそ、縮尺を使用せざる主義の方は斯る場合に處するに鯨尺四分の一教授とか、或は又二分の一教授と云ふ事を致して居らるゝので有ますが、此の如きは何れの点よりするも、断じて賛同する事は出来ませぬ、何故賛同する事が出来ぬ

かと申しますれば第一生徒の腦裡へ總ての方法を、理解せしむる上に於て非常の不利益で有ます。

何故然るかと申しまするに、試に茲に二三の實例を擧げて見ましよう、假令ば一ツ身の範標附を教授する場合として、衽下りが二寸五分其の四分の一は——(とても暗算では尋常三四年生には出来ませぬ)——或は又衽下四寸五分其の四分一、若しくは衽巾二寸七分其の四分一、此の如く奇數の寸法などの時に何として是れを暗算で割り出し得ることが出来ましようや、然れども尙ほ數百歩を譲りて、仮りに割出し得る者と致しましよふか、夫れが爲に費やす時間は決して尠少では御座いませぬ、此くては徒らに時間を空費するに止り、何等の効果を奏する事は出来ませぬ、のみならず、夫れが爲生徒の腦裡を無益に費やす斗りて、更に得る處が御座いませぬ、假令二分の一教授に致しました處で、同じ寸法を二様に教ゆるので御座いますから、時間を空費する点に於ては、四分の一教授と大差は御座いませぬ。

而も四ツ身以上に至りましては、非常に場所をとりますから、實際に於て行い難き方法で御座います、併しなから、夫れも他日實物を裁縫せしむる場合に至て、其の必要が有るなれば又致し方なき次第で御座いますが、此の如き事は、断じて必要な事柄で御座います、而も普通の鯨尺と同一の作様を爲し得る處の、縮尺と云ふ教授上誠に便



益の物の有にも關らず何を苦んで、縮尺四分の一教授だの、二分の一教授など、云ふ方法を執らるゝので御座いますか、我濟しにはトント我点の行かぬ事で御座ます。亦多少進歩せる理想の下に教鞭を執らるゝ方面に於ては、四分の一教授などと云ふ煩はしき方法は執り居らざるも、縮尺即ち縮尺を使用せざるが爲め、全然裁方範標附等に關する應用智識を與ふる方法に窮したる者か、夫れ等の智識は生徒の記憶力に訴ふるよりは、寧ろ生徒各自の工風力に俟つに如かずと主張せらるゝので御座います。此の如きは啻に一遍の空想に止り、斷じて實績を學び得らるべき者では御座ひませぬ。何となれば獨り裁縫に限らず、あらゆる學術技藝に致しましても、自己の工風力に因て自由に應用し得ると云い事は、兎にも角にも一と通り其道を心得たる後の事に屬します。

然るに尋常三五學年、年齢よりすれば僅かに十二三才の少女を捕へて、毎學期僅かに一枚か二枚の實物裁縫を教授した位の事で、此至難なる裁方範標附に關する應用智識を、生徒の工風力に俟つて、完成せんとするが如きは、餘りに極端なる考へで有と申さねば相成りませぬ。勿論縮尺の使用を主張する我濟しと雖も、縫方に關する智識技能を授くる方法としては、無論實物を以て裁縫せしむるので御座います。併しながら我濟しは夫れに先ちまして、他日實物裁縫を爲さしむる準備として、此縮尺と縮尺相

當の用紙を以て、裁方範標附に關する應用智識を與ふる様に致して居るので御座います。斯様の方法に致しますれば、他日實物裁縫を爲さしむる場合に望みましても、極めて時間を節約する事が出來ます。のみならず、裁方範標附に關する應用智識を與ふる上に於きましても、自然同一の種類を屢々練習せしめ得る便宜あるを以て、總べての方法を全級生徒の腦裡へ、完全に理解せしめ類化せしむる事が出來得るので御座います。然るに縮尺の感念を兒童に與ふるは、教育上云々など、トツテもなき理由の下に、斯くも有利なる教材教具を排斥せられて、一切實物主義を主張せらるゝが如きは、思はざるの甚しき者と申さねば相成ませぬ。

之れを要するに、縮尺即ち雛形を造ると云ふ誤解、換言すれば、縮尺の用途を根本より誤解し居りたる結果に他ならずと思量致します。前にも述べました通り、此の縮尺即ち縮尺の用途は、雛形を造る爲めの道具では斷じて御座いませぬ。單に時間の節約上縮尺と縮尺相當の用紙を以て、衣類の裁方範標附を教授練習せしめて、完全なる應用智識を與ふる爲の道具として、使用せしむべきもので御座います。故に爾來は其誤解を根底より打破して、最も教授上便益なる此縮尺即ち縮尺を使用せられ度もので御座います。

## 備考



斯く申せば、如何にも縮尺萬能主義の様々聞へますが、決して左様の譯の者では御座いませぬ、勿論縮尺は時間の節約上産れた者に相違御座いませぬが、時間の節約は必ずしも、夫れ計りでは御座いませぬ、素縫教授を始として、箕、紵、止針、打針、さては袖口かけ、袖裾、部分縫等の教授練習にをきましても、夫れく教材、教具を用いまして、五度の者は三度で、三度の者は二度で、全級生徒へ完全に、理解たしめ類化せしむる様致さねば相成ませぬが、就中此の縮尺の如きは、最も時間を要する裁方、範標附の教授練習用として、誠に理想の教具で御座います、故に此の縮尺すら、使用する事の出来ぬ様な、教授の仕方では有ましては、小學校教授の改善などは、思いも因らぬ事で御座います、篇と御熟考を煩し度もので御座います。

### 教授用掛圖の撰擇

次は教授用掛圖の事で有ますが、我済しが拾七八年も以前に、掛圖を發行致しまして(其の後改良に改良を)以來、三五の人々が掛圖を發行致されまして御座います、其の多くは裁方に關する物で御座いますが、(最も縫方の掛圖を造れば我済しの著作考案權を)然しながら此の裁方教授の如きは、生徒の方こそ、手帖や、縮尺や、縮尺相當の用紙などの必要が御座います、教師の方は簡單に黒板へ圖解して教授すれば可いので御座いますから、掛圖なごを持ち出して、大さはざる必要は、斷じて御座いませぬ。

要するに掛圖の要は、小學校の如く同一程度の生徒を、三十人、五十人と、一團體と爲して僅か四十五分の間、全級生徒へ一濟に、物を教ゆるに望んで、口で何程説明しても解からず、然りとて其の方法を墨板へ圖解して教授致さんとするも、簡單なる圖では到底其の方法を理解せしむる事も叶はず、然りとて一々生徒の机邊に着きて、個人的に教へんか、日も尙ほ足らざる次第で有と云ふ、極めて教授上至難なる處の、縫方に屬する教授科目に對して、茲に始め掛圖を使用する必要を感じ來るので御座います、而も其の掛圖に致しました處で、直接眼で見て丁度よい繪で有ましたならば、教場へ掛けて四五間離れて見ましたならば、何が何やらサツパリ譯けの解からぬ物に見へますから、仮令縫方に屬する掛圖を撰定致しますにも、大いに此の點に留意せられ度もので御座います、然らざれば、切角高價の代金を拂ふて、教授上何等の役にも立たぬ様の物品を買ひ込む恐れが御座いますから、此の點は吳々々も留意せられ度もので御座います。

### 裁縫専用の手帖。

是れは生徒用の手帖であります、此の手帖なる者は、從來何れも單なる白紙手帳を使用せしめられつゝ、有るので御座いますが、此手帖の目的は、其の年度内に於て時々教授を受けし科目の、自習用參考たるは勿論の事で有ますが、單に夫のみに止まらず、前



年、前々年の教授科目の練習として、宿題を課せられたる場合の如き、生徒は是れを以て唯一の参考資料と致すので御座ひます、尙ほ一步を進めて考ふれば、六學年を卒ると同時に、女工となり、或は亦子守奉公に出るとか、然らざるも家庭にありて、弟妹の守りなどして、母の手だすけに汲々として、何等夫れ以上の教育を受くる事能はざる、貧家の子女の將來に取りては、此の手帖なる物は、極めて大切の参考書と申さねば相成ませぬ、夫れゆへ教授を受けたる種類は生徒各自の手帖へ、鮮明に記入し有る様でなくては、到底前述の如き場合の参考資料に供する譯けには相成ませぬ、然るに教場に於て生徒各自が教師の記載せし、黑板上の圖画を寫し取りしもの、如きは、甚だ粗雑にして、往々誤記を免れ難く、而も甚だ拙劣にして、到底見るに堪へざる者を、寫記し居るを以て、常事と致します、斯くては將來の参考資料處か、今日寫して明日既に、寫記せし當人夫れ自身すら、判斷に苦しむ様の者が、出來上つて居るので有りますから、何の爲に手帖へ筆記したのか、せしめたのか、授者も被授者も、共に其の辨解に苦しむ様の不始末を、演じつゝ、有るので御座ひます、而も夫れを寫し取る爲に、費やす時間の如きも此の四ヶ年間を通算すれば、却々僅少の事では御座ひませぬ、而も前述の如く、何等の参考資料にも供し得られざる様な、拙劣の者が出來上り居ると、致しましたなら、此の位ひ無益の事は御座ひませぬ、果して然らば如何なる方法によらば、最も時間を節約

して、現在將來ともに、完全に参考資料と爲し得るで有ふかと申すれば、夫れには從來の如き白紙手帖でなく、各學年別に、教授種類を印刷致しある、裁縫専用の手帳を使用せしむるに限ります、然様に致しますれば、唯に時間を節約し得るのみならず、現在に於て自習用宿題用たると同時に、將來の参考資料として、立派に活用を爲すので御座ひます、而も其の費用の点はと申しました處で、從來の白紙手帳か四錢のものなれば、特製の専用手帳は五錢で有と云ふが如く、僅かに壹錢か貳錢の相違で各生徒の現在及將來に執りて、非常に有益であるのみならず、教授者の立場より考ふるも、常に時間を節約し得るのみならず、宿題を課する場合の如き、生徒の頭腦を少しも害する事なくして、宿題を實行し得る等の利益あるを以て、前記の如き裁縫専用の手帳を、各自へ使用せしむる事は、總べての点より考究して、有利で有ると絶叫致すので御座ひます。

### 如何にせば裁縫教師たる職責を全ふし得べき哉

社會が要求する處は、裁縫教師たるが故に、裁縫教授の成績を可良ならしむれば足れりと思爲すが如きは、甚だ不心得である、仮りにも教師たる以上は、小學校令に明示せらるゝが如く、各科擔任者と共通の責任を負ふて、身心の陶冶即ち精神教育の上にも力を致さざるべからずと、要求せられつゝあるのでありますが、是れ誠に至當の要



求で有と存じます、而しながら物に順序あり、事に輕重あり、自己の表職責たる裁縫教授の成績を度外して、唯々社界の要求に副はんとして、理想走るが如きは、大に謹まざるべからず、故に教師たるの本分を盡さんと欲せば、先づ以て、自己の表職責たる、裁縫教授の成績を可良ならしめ得るよう、教授の改善を圖り、然る後ち、序ろに附隨責任たる身心の陶冶即ち精神教育にまで、力を致すを以て、順當の行ひならんかと存じます。果して然らば、裁縫教授の改善は、裁縫教師たる者の職責より論ずるも、將又社界が要求せらるゝが如き、圓滿なる女子教育の効果を奏する上より論ずるも、誠に焦眉の急に迫り居るものと、申さねば相成ませぬ、果して然らば、如何にせば、斯道教授の改善を期すると共に、社界の要求に副むの行動を執り得らるゝかと申すするに、一言に是れを云い著はして見ましようなれば、時間節約 換言すれば、努めて教授練習時間を節約して二度のものは三度、三度のものは五度繰り返へして、能く其の方法を理解せしめ、類化せしめて、學年學期の進むに隨ひ、教科の大部分は既知の部分として僅かに未知なる處の一小部分を、教授すれば足れりと云ように、最初より秩序正敷教授を爲し來りますれば、教師も生徒も共に餘裕を生じて參りますから、茲に始めて身心の陶冶即ち精神教育にまで力を致して、管に社界の要求に副むのみならず、教師たるの本分を全ふし得るので、御座ひます、而しながら現時の如き教授の有様で、前述の如き理

想の教授訓練を爲さんとするは、絶対に不可能の事に屬します、故に裁縫教師たる者自己の職責を全ふせんと欲しますれば、先づ以て従來の教授練習方法を根底より打破して、極めて嶄新なる教授練習方法を執られ度もので御座います、然らば即ち、如何なる方法を以て嶄新なる教授の方法なるかと申しますれば、

- (1) 裁縫専用の特製手帳を生徒各自に使用せしめて、積り方算式、裁方野引、裁方、筧標附圖解等の教授時間を節約すると共に、自習用、宿題答案用参考資料たらしめて、時間の節約を圖ると共に、校外練習に便せしむる事。
- (2) 縮尺と古新聞紙を以て、裁方筧標附に關する準備教授を爲して、時間の節約を圖ると共に、充分應用智識を與ふる事に努力して、他日實物裁縫を教授、練習せしむる處の、豫備教授の完成を期する事。
- (3) 掛圖を使用して、基礎中の基礎たる、素縫教授に關する、準備教授を爲し、夫れより素縫教授に移りて、其の完成を期する事。
- (4) 掛圖を使用して、全級一済に、縫方に關する準備教授を爲して、時間の節約を圖ると共に、其の方法を充分に理解せしめて、他日實物總合縫を教授すべき、豫備教授の完成を期する事。
- (5) 掛圖を使用して最も至難なる、袖、裙等の部分縫を、全級一済に教授して、時間の節約



- を圖ると共に能く其の方法を理解せしめ、類化せしむる事。
- (6) 掛圖を使用して、全級一済に、實物總合縫を教授して、時間の節約を圖ると共に、能く其の方法を理解せしめ、類化せしむる事。
- (7) 實物總合縫の智識を與ふる上に於ても、本裁の如き、多くの時間を要する材料をさけて、小裁類を以て、二度のものは三度練習して、能く其の方法を理解せしめ、類化せしむる事。

以上の方法を以て新なる教授の方法で有と我済は主張致します、故に前述の如き理想の効果を奏さんと致しますれば、學校としては縫方教授用掛圖を備ふると共に全級生徒には、縮尺と裁縫専用の特製手帳とを用意致させおくと云ふ事は、誠に肝要の事柄で御座ひます、夫れと共に教授練習方法を改善して、茲に始めて教師たるの本分を全ふし得るので御座ひます。



### ▲急告▼

茲に特筆大書して各位の注意を喚起致し度は、前にも繰述致せし通り左に記する毎學期の教授、練習、度數表を見て各位の從來の御實驗に對比して、何で斯様に數々の練習を重ねる事が出来る者かとの、御考へが浮ぶで御座ひましょふが、其所が新教授法の價値で有と同時に、小出新次郎はテーブルの上の議論は斷じて致しませぬ、廿五年の久しきに亘る、實驗上斯くすれば斯くなると云ふ、確信を以て此の方法を公に致しました次第で御座ひますから何卒其の点は、御信用被下まして、篤と御熟覽を願ひ度もので御座ひます。

又茲に壹回貳回と云ふは一偏一度と云ふ意味ではなく、物に依つて五分十分、或は二十分、一時間の間に幾回も繰り返へして教へ若しくは練習せしむる事を云ふので御座ひますから、是れ又御承知おきを願ひます。



尋常三學年第壹學期の教授、練習度數表

科目	回数	裁縫の要旨と器具材料の名稱及整理		素縫の準備教習		授練		素縫の練習		縫止、縫始		籠の持方、仕方、針打方		單衣裙先の折方、内裏、外裏		並はぎ、割はぎ、よりの練習	
		回数	宿題	回数	宿題	回数	宿題	回数	宿題	回数	宿題	回数	宿題	回数	宿題	回数	宿題
合計		1		1		1		1		1		1		1		1	
教授	回数	1		1		1		1		1		1		1		1	
練習	宿題		1		1		1		1		1		1		1		1
裁縫の要旨と器具材料の名稱及整理		1		1		1		1		1		1		1		1	
素縫の準備教習		1		1		1		1		1		1		1		1	
授練		1		1		1		1		1		1		1		1	
素縫の練習		1		1		1		1		1		1		1		1	
縫止、縫始		1		1		1		1		1		1		1		1	
籠の持方、仕方、針打方		1		1		1		1		1		1		1		1	
單衣裙先の折方、内裏、外裏		1		1		1		1		1		1		1		1	
並はぎ、割はぎ、よりの練習		1		1		1		1		1		1		1		1	

## 教授の方法と週別教案

尋常三學年第壹學期。

四。五。六。七。の四ヶ月間。

此の教授週、拾六週。

第壹週、裁縫の要旨と器具材料の名稱及整理 (材教) 特製手帖

第貳週、器具の整理と素縫の準備教授。 (具教) 掛圖 第壹面、第貳面、

(1) 手指の構へ方。 (2) 素縫の姿勢。 (3) 指の運ばせ方

第參週、素縫の準備練習。 (具教) 掛圖 第二面、

(1) 手の構へ方。 (2) 素縫の姿勢。 (3) の運ばせ方

第四週、素縫の準備教授、練習。 (具教) 掛圖 第一面、第二面、

(1) 手の構へ方。 (2) 素縫の姿勢。 (3) の運ばせ方。

(4) 布附の運ばせ方。 (5) 布針附の運ばせ方。



第五週、素縫の準備練習。

(具) 掛圖 第一面、第二面、

(1) 前週と同一の方法を繰り返す事。

第六週、素縫の姿勢と遅々素縫。

(具) 掛圖 第二面、第二面、素縫され

第七週、素縫の姿勢と遅々素縫。

(具) 同 上、掛圖、素縫され

第八週、素縫の姿勢と遅々素縫。

(具) 同 上、掛圖、素縫され

第九週、遅々素縫と通常素縫。

こぶ造りと縫始、縫止。教授 (教材) 掛圖 第三面素縫され

第十週、遅々素縫と通常素縫。

こぶ造りと縫始、縫止。練習 (教材) 掛圖 第三面素縫され

第十一週、通常素縫と斜線素縫。

籠の持方、仕方、待針打方。教授 (教材) 掛圖 第四面素縫され

第十二週、通常素縫と斜線素縫。

籠の持方、仕方、待針打方。練習 (教材) 掛圖 第四面素縫され

第十三週、通常素縫と弓状素縫。

單衣裙先の折方、内袂、外袂。教授 (教材) 掛圖 第五面素縫され

第十四週、通常素縫と弓状素縫。

單衣裙先の折方、内袂、外袂。練習 (教材) 掛圖 第五面素縫され

第十五週、通常素縫と十字素縫。

並はぎ、割はぎ、よりつなぎ。教授 (教材) 掛圖 第六面素縫され

第十六週、通常素縫と十字素縫。

並はぎ、割はぎ、よりつなぎ。練習 (教材) 掛圖 第六面素縫され





尋常三學年第貳學期の教授、練習度數表

科 目	回 數	教 授	練 習	宿 題	合 計
器具、材料の、整理と、講話。	壹回	—	—	—	壹回
素 縫 の 練 習	素縫姿勢と遅々素縫。	—	參回	—	參回
	遅々素縫と通常素縫。	—	參回	壹回	四回
	通常素縫と斜線素縫。	—	參回	壹回	四回
	通常素縫と弓状素縫。	—	參回	壹回	四回
	通常素縫と十字素縫。	—	參回	壹回	四回
縫始、縫止、練習	—	貳回	壹回	參回	
單衣襟先の折方、練習	—	貳回	壹回	參回	
並はぎ、割はぎ、練習	—	貳回	壹回	參回	
單衣はたひすび方、教授と練習	壹回	貳回	壹回	四回	
角たもど、返し縫、教授と練習	壹回	壹回	壹回	參回	
袖口かけ、と、教授と練習	壹回	壹回	壹回	參回	
單衣脇とじ、と、教授と練習	壹回	壹回	壹回	參回	

尋常三學年第二學期。

九。十。十一。十二。の四ヶ月間。

此の教授週、拾六週。

第壹週、器具材料の整理と講話。

第貳週、素縫姿勢と遅々素縫。こぶ造りと縫始、縫止。練習(教材)掛圖(教具)素縫第一面第二面され

第參週、前週の練習。 同 上、掛圖、素縫第一面され

第四週、素縫の姿勢と遅々素縫。單衣襟先の折方、内袂、外袂。練習、同上、掛圖、素縫第五面され

(宿題、よりのなぎ)

第五週、遅々素縫と通常素縫。單衣襟先の折方、内袂、外袂。練習、同上、掛圖、素縫第六面され

(宿題、並はぎ)

第六週、遅々素縫と通常素縫。並はぎ、割はぎ、よりのなぎ。練習(教材)掛圖(教具)素縫第六面され

(宿題、内袂、外袂)



第七週、遅々素縫と通常素縫。並はぎ、割はぎよりつなぎ練習(教材)掛圖第六面素縫され

(宿題、割はぎ)

第八週、通常素縫と斜線素縫。はたむすび教授(教材)掛圖第七面素縫され

(宿題、こぶ造り、縫始、縫止)

第九週、通常素縫と斜線素縫。単衣くけ方練習(教材)掛圖第七面素縫され

(宿題、内袂、外袂)

第十週、通常素縫と弓状素縫。綿入くけ方、角袂、返し縫教授(教材)掛圖第八面素縫され

(宿題、正敷素縫五筋)

第十一週、通常素縫と弓状素縫。角袂、返し縫、綿入くけ方練習(教材)掛圖第八面素縫され

(宿題、並はぎ、割はぎ、よりつなぎ)

第十二週、通常素縫と斜線素縫。単衣くけ方、はたむすび練習(教材)掛圖第七面素縫され

(宿題、單衣くけ方、はたむすび)

第十三週、通常素縫と十字素縫。袖口かけ、附紐かざり教授(教材)掛圖第九面素縫され

(宿題、正敷素縫五筋)

第十四週、通常素縫と十字素縫。袖口かけ、附紐かざり練習(教材)掛圖第九面素縫され

(宿題、綿入くけ方、返し縫)

第十五週、通常素縫と弓状素縫。單衣脇とじ、背守縫方教授(教材)掛圖第十面素縫され

(宿題、袖口かけ、附紐かざり)

第十六週、通常素縫と十字素縫。單衣脇とじ、背守縫方練習(教材)掛圖第十面素縫され





尋常三學年第三學期の教授、練習度數表

科 目	回 數	教授	練習	宿題	合計
器具材料の整理と講話。		壹回	—	—	壹回
素 縫 練 習	通常素縫と斜線素縫。	—	參回	壹回	四回
	通常素縫と弓狀素縫。	—	參回	壹回	四回
	通常素縫と速針素縫。	—	參回	壹回	參回
並はぎ、割はぎ、よりつなぎ、練習。		—	貳回	壹回	參回
單衣くけ方、はたむすび、練習。		—	貳回	壹回	參回
角袂造方、返し縫、綿入くけ方、練習。		—	貳回	壹回	參回
簡易袖口かけ、背守縫方、練習。		—	貳回	壹回	參回
1ツ身襦袢裁方算式、裁方野引、教授、練習		壹回	—	壹回	貳回
1ツ身襦袢裁方範標附教授と練習		壹回	—	壹回	貳回

尋常三學年第三學期。

一。一。二。三の三ヶ月間。

此の教授週、拾一週。

第壹週、器具材料の整理と講話。

第貳週、素縫姿勢と斜線素縫。並はぎ、割はぎ、よりつなぎ、練習(教具)掛圖第壹面素縫第貳面され

(宿題、並はぎ、割はぎ、よりつなぎ)

第參週、通常素縫と弓狀素縫。單衣くけ方、はたむすび、練習(教具)掛圖第壹面素縫第貳面され

(宿題、正敷素縫五筋)

第四週、通常素縫と速針素縫。角袂、返し縫、綿入くけ方、練習(教具)掛圖第壹面素縫第貳面され

(宿題、單衣くけ方、はたむすび)

第五週、通常素縫と斜線素縫。簡易袖口かけ、背守縫方、練習(教具)掛圖第壹面素縫第貳面され

(宿題、綿入くけ方、返し縫)



第六週、通常素縫と弓状素縫。

並はぎ、割はぎ、よりつなぎ。練習(教材)掛圖(第壹面素縫、第六面素縫)され

(宿題、正敷素縫五筋)

第七週、一ッ身襦袢、積り方算式、裁方罫引教授(教材)特製手帖

(宿題、間易袖口かけ)

第八週、一ッ身襦袢、裁方、篋標附、教授(教材)縮尺と古新聞紙

(宿題、正しき素縫五筋)

第九週、通常素縫と速針素縫。角袂、返し縫、練習(教材)掛圖(第壹面素縫、第八面素縫)され

(宿題、背守縫方)

第十週、通常素縫と斜線素縫。間易袖口かけ、練習(教材)掛圖(第壹面素縫、第十面素縫)され

第十壹週、通常素縫と弓状素縫。單衣くけ方、練習(教材)掛圖(第壹面素縫、第七面素縫)され

はたむすび

練習(教材)掛圖(第壹面素縫、第七面素縫)され

教授の方法と其の理由。

先づ是れで尋常三學年の學科目は終つたので有ますが、此の學年中に於て、最も肝要なる教授科目は申すまでもなく、裁縫の基礎たる處の、素縫教授で御座ひますが、此の素縫なる者は誠に無趣味なる者で有まして、而も却々に熟練を要する科目で御座ひますから、其の教授は非常に困難の者で御座ひます。故に餘程秩序正しき教授を致して出なければ、到底理想の成績を挙げ得らるべき者では御座ひませぬ。然れば此の至難なる素縫教授をして、理想の成績を挙げ様と致しますれば、先づ以て素縫の準備教授として、左記の如き順序で秩序正敷教授して出なければ相成ませぬ。先づ夫れを表示して見ますれば、

(1)手指の構へ方、(2)全体の姿勢、(3)指の運ばせ方、(4)布附指の運ばせ方、(5)布針附指の運ばせ方、先づ是れだけを屢々繰り返へして、略ぼ其の方法を全級生徒が理解せしと見たならば、茲に始めて布針糸の三則を調べて、素縫を練習せしむるので御座ひます。併しながら、其の素縫を爲さしむるにも、始めの内は極めて遅々として、指を運ばせ唯々姿勢をくづさずに、工合よく指を運ばしむる様に、導くので御座ひます。要するに素縫を練習せしむるのには、全体の姿勢は、どんな工合にすべきで有か、左右



の手指の構へ工合は、どんな工合にすべきで有か、針は何れへ立て、右の手の母指と食指とは、どう云ふ工合に動かすべきで有かと云ふ事を、充分理解致さすのが肝要で御座ひます。故に、其の方法さへ理解させて仕舞ますれば、あとは繰り返へしへすれば自然に上達する者で御座ひますから、素縫教授に付ては、其の始めの準備教授から、遅々素縫迄の間が一番肝要の事柄で御座ひます。

故に其の方法を全級一済に理解致させ様と思ひますれば、掛圖第二面を使用して、左右の指の力の入れ工合から、手の構へ工合を教へ、夫れと同時に掛圖第一面を使用して、全体の姿勢の工合を教へ、而して全級生徒が略ぼ其の方法を、理解せしと見たならば、尙ほ一步を進めて、其の姿勢をくすぬ様にして、指の運ばせ工合を教授、練習せしむるのであります。(此の場合掛圖第一面第二面を使用する事)而して、尙ほ其の方法を、全級生徒が理解せしと見たならば、更に一步を進めて、布を持たせて(針も糸もつけづに)掛圖は(第壹面より第參面迄を)使用して、前同様指の運ばせ方を、練習せしめて、彌々全級生徒が其の方法を理解して、少しも姿勢をくすさずして、指を運ばし得る様に成りましたなれば、茲に始めて素縫を練習せしむるので御座ひます。然しながら素縫を爲さしむると申しましても、直ちにドシ／＼と縫はすると云ふ、やり方で有りますと、殆ど是れまでの苦辛は、水泡に踏する次第で御座ひますから、やはり是れ迄と同じ様に———と號令をかけて、極め

て、遅々とした素縫を試みさするので御座ひます。夫れをシバ／＼繰り返へして、兎も角も姿勢も、くすさず、指も延び、針も正敷、指貫の上に立ち居る様になりしと見たならば、茲に始めて普通の方法で、素縫の練習を爲さしむる様に、致すべきで御座ひます。兎も角も斯様の秩序方法を以て素縫の教授練習を致させますれば、拾六週間即ち、四ヶ月目の終り當りに至りますれば、唯の一人たりとも、握り針を致居る様な者は、斷じて御座ひませぬ。若し夫れ然様の成績を挙げ得たりと致しますれば、其の後の上達は又非常の者で御座ひますから、隨て理想の成績を見ると云ふ事も、近き將來で有と斷言する事が出来、故に裁縫の基礎たるべき、素縫教授の完成を期せんと欲せば、是非々々前述の如き順序方法に依て、教授せられ度もので御座ひます。次は總合縫に關する準備教授として、

### 縫始、縫止、まつけ、くけ、はぎ、綴ぎ、

等の類ひの教授、練習方法で御座ひますが、是れ等の類ひを教授致しますものにも、殊更貴重時間を費やさずして、最も倦怠み易き、素縫練習の時間中に狭みて、素縫を倦怠させぬ方便として、前記の種類を一小部分つゝ、教授且練習せしめて、不知識の間に縫方に屬する要所々々を知得せしむる様に致すべきで御座ひます。而しながら毎



時五分間か拾分間を以て、全級一済に其の方法を理解せしめんと致しまするには、是非共夫れ相當の教授用掛圖を使用する必要を感じ來ります、若し夫れ掛圖一つ使用せずして、此の事を試み様と致しましても、夫れは絶対に不可能の事に屬します、故に我済しは、時間の節約上前記の種類の教授練習を爲さしむるには、是非とも掛圖の必要なる事を絶叫致します。次は

### 積方、裁方、箆標附、

等の教授の方法で御座ますが、從來此の種の教授を爲すに當りましては、鯨尺四分の一若しくは二分の一教授なる方法を採用せらるゝ向も尠なくは御座ひませぬが、我済しは絶対に其の方法を賛同することは出来ませぬ、なぜかと申ますれば此の裁方及箆標附教授の如きは甚だ記憶に存し難き者で御座いますから、單純に是れは此様裁つて此處は何寸何分の箆標附にしてと極めて解り易く教授してさへも、二度や三度の教授練習では、却々生徒の腦裡へ類化せしめ、記憶せしむる事は致し難いので御座ひます、然るに鯨尺四分の一教授に依ると致しますれば、本來此處は何寸何分であるが、今は四分の一教授で有から何分何厘、又此處は何寸何分であるが、四分の一教授で有るから何分何厘で有と云ふ様に、二重三重の教授を致し居ては、到底生徒の腦裡へ

完全に理解せしむる事は絶対に不可能の事である、故に我済しは斷じて其の方法に同意する事は出来ぬので御座います、夫れに反して、縮尺を使用致させますれば、普通の用布と鯨尺とを以て教授すると同じ心で、同じ口調で、簡單に教授する事が出来ますから、理解も早く、記憶にも存し易いので御座いますから、時間の經濟上非常の利益で御座います、此の点に考慮を煩し度もので御座います。次は、

### 罫引、算式、裁方、箆標附、に關する圖解。

等の教授を爲すに當り、教師が黑板へ圖解せしものを、生徒各自の手帖へ筆記せしむるが如きは、徒らに時間を空費するに止り、何等の効果をも奏する事能はざる者で御座います、而も其の寫し採りたる處の圖画は、寧ろ滑稽にして、將來の備忘どころか、現在に於ての宿題、自修等の参考資料にも、成らざる様の者が出来るので御座います、夫れよりか、僅か五錢か六錢で購ひ得る處の裁縫専用の手帳を、全級生徒に所持致させますれば、實に教授時間を節約し得のみならず、宿題、自修等の参考資料たると共に、將來の備忘とも成りますから、生徒のため何程の利益であるか、恐らくは圖り知れざる次第で御座います、夫れゆへ將來理想の成績をあげ、天晴斯道擔任者たるの職責を全ふ致さふと思ひますれば、此の縮尺と手帳とは、教授上一日も缺く可からざる要具で御座います。次は



## 小裁襦袢の實物裁縫に

關する教授で有りますが、此の教授中、裁方範標附に關する類いは、縮尺と用紙を以て屢々準備教授を致し置きますれば、此の實物教授に際しまして、仮令五十人が七十人でも、一濟に教授する上に於て、然のみ困難を感ずる様の事は御座いませぬが、是れ迄の様に、ロク／＼準備教授も致しお（假令爲したりと雖も縮尺四分の一）かず（授か二分の一教授でありましては）して、直ちに實物教授に係ります様な、不秩序なる教授の仕方では、嘗に教場の整理の調はざるのみならず、徒に時間を空費するに止り、何等の効果を奏し得らるべき者では御座いませぬ、故に極めて時間を節約して、實物教授に關する、理想の成績を挙げ様と致しまするには、先づ以て縮尺と縮尺相當の用紙を以て、裁方範標附等に關する智識を、完全に授け置く必要が御座います。

又縫方教授に附きましても、茲に繰述致しました通り、掛圖と素縫きれとを以て、縫方に屬する要所々々を、分解的に屢々教授練習せしめて、完全に準備教授を致しおきまして、尙ほ總合縫に關する未知の部分に附ましましては、新たなる掛圖をも使用して、教授致しますれば、仮令五十人が七十人の團體で有ましても、何等の苦痛をも感ずる事なく、全級一濟に易す々々と教授する事が出來ます。然るに是れ迄の様に、掛圖一つ使用する事もなく、ロク／＼準備教授も致しおかずして、直ちに實物總合縫を爲さしむ

る様の教授の仕方では、嘗に教場の不整理に陥るのみならず、徒らに時間を空費するに止り、何等の効果をも奏し得らるべき者では御座いませぬ、夫れに反して、前述の如く、掛圖素縫きれ等を以て、縫方に屬する準備教授を、完全に致しおきますれば、此の實物總合縫を爲さしむる場合に望みましても、極めて時間を節約して、而も全級生徒の腦裡へ、完全に其の方法を理解せしめ、類化せしむる事が出來るので、御座います、幸にして、尋常三學年度中に於て、素縫教授の完成を期し得ると同時に、縫方に屬する、要所々々の大意を、理解せしむるのみならず、裁方範標附に關する、智識の一端を開き得たりと致しますれば、四學年以上の成績の可良なるべき事は、火を見るより明にして、六學年の卒業期までには、小裁長着類を獨力で、自由に裁縫し得る、智識、技能を備へしむること云ふ事は、決して難事では御座いませぬ、併しながら、斯る理想の成績を挙げ様と致しまするには、教授練習の方法は、更なり、教材、教具の設備に附きましても、前述の如き用意を爲すにあらざれば、到底理想の効果を奏し得らるべき者では御座いませぬ、斯道教授改善のため、女子教育のため、篤と考慮を煩はされん事を、切望の至りに堪へませぬ。

## 備考 其一



## 基礎たる素縫教授。

獨り裁縫教授に限らず、總べての學術、技藝を教授、練習せしむる上に於て、基礎教授が肝要である事は、多辨を費やすの要なき事柄で御座いますが、就中裁縫教授に關する素縫の如きは、基礎中の基礎とも申すべきほど、肝要のもので御座います。然るに従來多くの先生方が、素縫教授と云へば、直ちに、布、針、糸を以て、教授、練習せしむると云ふ不秩序の教授方法を執らるゝので御座いますが、斯くては何時に成つても、其の方法を、完全に理解せしむべき、機會を獲へ得る事が出来ませぬ。隨て三月たつても、五月たつても、進むのか退ぞくのか、殆ど判別に苦しむと云ふ様な、不始末を演ずるので御座います。

彼れ是れする内に、他に必用なる種類の、教授に係らねば成らぬ事と成て參りますから、彌々其の機會を失ないまして、自然四學年、五學年になつて、尙ほ且握り針を致し居る様な、不始末を演ずる様に立ち至るので御座いますが、前にも述べました通り、基礎中の基素とも申すべき、素縫教授の成績が、前述の如き不成績で有と致しましたならば、小學校に於ける、裁縫教授の完成を期せんとするは、絶対に不可能の事となるので御座います。然しながら、教授の方法其の宜敷を得ますれば、尋常三學年の半又至りますれば、天晴なる素縫を爲し得るのみならず、全級一人として、握り針を致し居る様の者は、

は斷じて御座いませぬ、是れ秩序ある教授練習の効果に他かならぬので御座います。

## 備 考 其二

### 時間の節約と趣味の誘致。

時間の節約と云ふ事は、是れを精神的方面より申しますれば、少しも油斷を爲せぬと云ふ意義になるので御座いますが、心に少しの油斷も爲せぬ様とするの又は、教材其の物に對する、趣味を誘致すると云ふ事が、肝要で御座います。換言すれば一人拾馬と與ふべし、拾人一馬と與ふべからずとの意義に歸着するので御座います。生徒夫れ自身に對し、何等の趣味をも喚起せずして、千百の練習を爲さしめたりとて、何等の効果をも奏し得らるべき者では御座いませぬ。故に努めて時間を節約して、効果ある教授を爲さんと致しますには、教材其の者に對する、趣味の誘致と云ふ事に、餘程重きをおかれ度もので有ます。仮令ば最も無趣味なる、素縫の練習を爲さしむる場合と致しましても、其の素縫中に、嬉、く、げ、は、ぎ、つ、ぎ、附紐かざり、脊守縫方等の如き、極めて簡易なる縫方に屬する、分解教授の類いを、差し狭みまして、教材相互より、自然と趣味を喚起すると云ふが如き、方法を執られ度きもので御座います。而して其の教授の仕合は、是れを教育學的口調で申ますれば、易より難に、粗より精に、簡より繁にと云ふ意義に



基きまして、努めて生徒に、倦怠を來さしめざる様に、巧みに導くので御座います。

### 備 考 其三

#### 部分縫きれに關する利害。

夫れから、我濟しを始め、從來多くの斯道擔任者が、縫方に關する、要所を知得せしむる手段として、部分縫ぎれを使用する事を、主張致しまして御座いますが、其後の研究によりますれば、夫れは無用の事に屬します、何故かと申すれば、部分縫ぎれでは、前述の如き趣味を誘致する上に於て、甚だ不利益で御座います、仮令ごんな粗末の物でも、襦袢なら襦袢と云ふ物に、纏りまする材料を以て、從來の部分縫ぎれに代へて、要所の教授練習を爲さしむる方が、遙かに趣味を誘致する上に於て、利益で御座いますから、是非々々左様の事に致され度もので御座います、最も、袖、部分縫とか、裾部分縫とか申すような、特種の物二三種だけは、是非共部分縫ぎれを要しますが、其の他の極めて簡單なる處は、素縫ぎれを利用する事が出來ますから、夫れを以て、準備教授を爲し、他は總べて襦袢の總合縫に於て、教授練習せしむれば、可いので有りますから、殊更に、部分縫ぎれなどを、用意する事は全廢して、其の費用を以て手帳、縮尺等の如き、最も肝要の道具を購求致された方が、得策で御座います。

### 備 考 其四

#### 新教授法に關する經費。

然れば、我濟しの主張する、前述の如き新教授法を採用するに至らば、新たに何程の費用を要する譯けで有るか云ふ事は、何人の頭腦にも即時に浮ぶ問題で御座いますから、其の事を一言申述べますが。

學校の方の設備としては、縫方教授用掛圖の購入費、**金七圓五拾錢**で、

部分縫教授用のつま形七拾枚(貳拾五枚、二種)此の代、**金八拾四錢**二口合計

**金八圓卅四錢**。故に學校としては、是れだけの費用を懸けますれば、十年

も二十年も使用し得らるゝので、御座ひますから、決して問題にする程の設備費では有まいと存じます。

又生徒の方は、裁縫専用の特製手帳が、**五錢**、若しくは**七錢**と縮尺が凡そ

**參錢五厘**。二口合計**金拾貳參錢**、是れだけ有れば、一ヶ年中何等

の不便をも感ぜずして、立派に教授を受ける事が出來るので有りますから、是れ又父



兄の負擔として問題とする程の費用では有まいと存じます、最も此の外かゝ裁方箋標附、稽古用紙なる者が入用で御座ひますが、是等の如きは古新聞紙を以て夫れに當てますれば、是れ又別段の費用を用する譯けでは御座ひませぬ、然るに僅々是れだけの費用を懸けた爲に、得る處の利益は、摸大の者で有と致しましたなれば、此の方法に依らぬと云ふ事は、恐らく申されまいと存じます。

備考 其五

敢て英斷を望む。

以上の如く學校の設備即ち市町村の負擔の上から申しましたも、亦生徒用即ち父兄の負擔の上から申ましても、極めて微々たる者でありますのみならず、夫れが爲め教師も教授上然のみ苦痛を感せずして、而も從來の成績に比して、數倍の好成绩を擧げ得ると致しましたならば、此の方法に依らぬと云ふ事は、不定理、無責任で有と絶叫致さなくては相成ませぬ、何人でも先入主たる、自分の從來の主張を捨て、他人の新らしき主張を頭腦に入れ換へて、致すと云ふ事は、却々至難の業で御座います、夫れも國家のため、新道發展のため、女子教育のためと思召し、是非々々一考を煩したく切望の至りに堪へませぬ。

尋常四學年第一學期間の教授、練習度數表

科目	回数	
	教授	練習
裁縫の要旨と器具材料の整理。	壹回	壹回
通常素縫之速針素縫。	參回	壹回
通常素縫之斜線素縫。	參回	壹回
通常素縫之弓狀素縫。	參回	壹回
單衣襟先の折方、内襟、外襟、練習。	壹回	壹回
並はぎ、割はぎ、よつなぎ、練習。	壹回	壹回
單衣くけ方、はたむすび、練習。	貳回	貳回
角袂造り方、返し縫、綿入くけ方、練習。	壹回	壹回
簡易袖口かけ、附紐かざり、練習。	貳回	壹回
單衣脇どじ、背守縫方、練習。	壹回	壹回
補綴、教授	壹回	壹回
一ツ身襦袢裁方、箋標附練習。	壹回	壹回
二ツ身襦袢裁方、方算式、方算引、教授と練習	壹回	壹回
二ツ身襦袢裁方、箋標附教授と練習	壹回	壹回
一ツ身襦袢實物裁縫の教授と練習。	壹回	壹回
二ツ身襦袢實物裁縫の教授と練習。	壹回	壹回
四ツ身襦袢裁方、方算式、方算引、教授と練習	壹回	壹回
四ツ身襦袢裁方、箋標附教授と練習	壹回	壹回
合計	壹回	壹回
宿題	壹回	壹回
練習	壹回	壹回
合計	壹回	壹回



尋常四學年第壹學期。四、五、六、七の四ヶ月間。

此の教授週拾六週。

第壹週

第一日 衣服裁縫の要旨と器具材料の整理。  
第二日 通常素縫と速針素縫。單衣襟先の折方、内しつけ、外しつけ、練習(教具) 掛圖(第壹面 第六面) 素縫きれ。

(宿題、内しつけ、外しつけ)

第貳週

第一日 通常素縫と斜線素縫。並はぎ、割はぎ、練習(教具) 掛圖(第壹面 第六面) 素縫きれ。  
第二日 通常素縫と速針素縫。簡易袖口かけ、附紐かざり、練習(教具) 掛圖(第壹面 第九面) 素縫きれ。

(宿題、並はぎ、割はぎ)

第參週

第一日 通常素縫と弓狀素縫。單衣くけ方、はたむすび、練習(教具) 掛圖(第壹面 第七面) 素縫きれ。  
第二日 通常素縫と速針素縫。角袂造方、返し縫、縮入くけ方、練習(教具) 掛圖(第壹面 第八面) 素縫きれ。

(宿題、縮入くけ方)

第四週

第一日 三ツ身襦袢積り方算式、裁方野引、教授。(教具) 特製手帖。  
第二日 三ツ身襦袢裁方、範標附教授。(教具) 縮尺、古新聞紙。

(宿題、一ツ身襦袢、裁方、範標附)

第五週

第一日 通常素縫と斜線素縫。簡易袖口かけ、附紐かざり、練習(教具) 掛圖(第壹面 第九面) 素縫きれ袖口きれ。  
第二日 通常素縫と弓狀素縫。單衣脇さじ、背守縫方、練習(教具) 掛圖(第壹面 第十面) 素縫きれ。

(宿題、簡易袖口かけ)

第六週

第一日 一ツ身襦袢實物裁縫の教授。(教具) 實物用布と掛圖(第拾貳面 第十三面)  
第二日 前日の續き。(宿題、單衣脇とじ)

第七週

第一日 前週の續き。  
第二日 前日の續き。(宿題、正敷素縫五筋)

第八週

第一日 前週の續き。(宿題、附紐かざり、背守縫方)  
第二日 通常素縫と速針素縫。背守、補綴、單衣脇とじ、練習(教具) 掛圖(第壹面 第十面) 素縫きれ。

(宿題、三ツ身襦袢積り方算式、裁方野引)

第九週

第一日 四ツ身襦袢積り方算式、裁方野引教授。(教具) 特製手帳。  
第二日 四ツ身襦袢裁方、範標附教授。(教具) 縮尺と古新聞紙。

(宿題、三ツ身襦袢裁方、範標附)

第十週

第一日 一ツ身襦袢實物裁縫の練習。(教具) 實物用布と掛圖(第拾貳面 第十三面)  
第二日 前日の續き。(宿題、正敷素縫五筋)



新教授要書

第拾一週

第一日 前週の續き。  
第二日 前日の續き。  
(宿題、よりつなぎ、はたむすび)

第拾二週

第一日 三ツ身襦袢實物裁縫の教授。(教具) 實物用布と掛圖。  
第二日 前日の續き。(宿題、正敷素縫五筋)  
第十二面  
第十三面

第拾三週

第一日 前週の續き。  
第二日 前日の續き。  
(宿題、四ツ身襦袢裁方、笠標附)

第拾四週

第一日 前週の續き。(宿題、單衣くけ方)  
第二日 通常素縫と斜線素縫。單衣くけ方、練習(教具) 掛圖  
第一面  
第二面  
素縫され。  
第十二面  
第十三面

第拾五週

第一日 三ツ身襦袢實物裁縫の練習。(教具) 實物用布と掛圖。  
第二日 前日の續き。  
第十二面  
第十三面

第拾六週

第一日 前週の續き。  
第二日 前日の續き。

尋常四學年第二學期間の教授、練習度數表

科目	回数	教授練習宿題		合計
		回数	回数	
器具、材料の整理之講話。	壹回	—	—	壹回
	—	—	—	—
	—	—	—	—
素縫練習	—	通常素縫と速針素縫。	貳回 壹回 參回	—
		通常素縫と斜線素縫。	貳回 壹回 參回	
		通常素縫と弓狀素縫。	壹回 壹回 貳回	
しつけ、くけ、練習。	—	—	貳回 貳回 四回	—
		—	—	
袖口かけ、練習。	—	—	壹回 壹回 貳回	—
		—	—	
縮入くけ方、練習。	—	—	壹回 貳回 參回	—
		—	—	
補綴、練習。	—	—	壹回 壹回 貳回	—
		—	—	
單衣袖部分縫、教授之練習。	壹回	—	壹回 參回	—
		—	—	
三ツ身襦袢裁方、笠標附練習。	—	—	壹回 壹回	—
		—	—	
四ツ身襦袢裁方、笠標附練習。	—	—	壹回 壹回	—
		—	—	
四ツ身襦袢實物裁縫の教授練習。	壹回	五時間 四時間	— 貳回	—
		—	—	
一ツ身單衣裁方、算式、引、教授練習。	壹回	—	壹回 貳回	—
		—	—	
一ツ身單衣裁方、笠標附教授練習。	壹回	—	壹回 參回	—
		—	—	
一ツ身單衣實物裁縫の教授。	壹回	十時間	— 壹回	—
		—	—	



尋常四學年第二學期。

九、十、十一、十二、の四ヶ月間。

此の教授週拾六週。

第壹週

第一日 器具材料の整理と講話。  
第二日 通常素縫と速針素縫。内しつけ、外しつけ、(教材) 掛圖 素縫きれ。

第貳週

第一日 通常縫素と斜線素縫。袖口かけ 練習(教材) 掛圖 第九面 素縫きれ。  
第二日 通常素縫と弓状素縫。縮入りけ方、練習(教材) 掛圖 第十面 素縫きれ。  
(宿題、内しつけ、外しつけ。)

第參週

第一日 四ツ身襦袢實物裁縫の教授。(教材) 實物用布と掛圖 第十二面  
第二日 前日の續き。(宿題、單衣くけ方)

第四週

第一日 前週の續き。(宿題、正敷素縫五筋)  
第二日 前日の續き。

第五週

第一日 前週の續き。(宿題、袖口かけ)  
第二日 單衣袖部分縫教授。(教材) 素縫きれ。

第六週

第一日 通常素縫と速針素縫。補綴練習(教材) 掛圖 第一面 素縫きれ。  
第二日 通常素縫と斜線素縫。單衣くけ方、(教材) 掛圖 第七面 素縫きれ。  
(宿題、單衣袖部分五)

第七週

第一日 四ツ身襦袢實物裁縫の練習。實物用布、掛圖 第十面  
第二日 前日の續き。(宿題、三ツ身襦袢裁方範標附)

第八週

第一日 前週の續き。  
第二日 前日の續き。(宿題、正敷素縫五筋)

第九週

第一日 一ツ身單衣積り方、算式、裁方引教授。(教材) 特製手帳。  
第二日 一ツ身單衣裁方、範標附教授。(教材) 縮尺と古新聞紙。  
(宿題、縮入りけ方)

第十週

第一日 一ツ身單衣裁方、範標附練習。(教材) 縮尺と古新聞紙。  
第二日 單衣袖部分縫教授。(教材) 素縫きれ。  
(宿題、單衣脇とし)

第十一週

第一日 一ツ身單衣實物裁縫の教授。(教材) 實物用布、掛圖。  
第二日 前週の續き。(宿題、四ツ身襦袢裁方、範標附)



- 第拾二週  
 第一日 前週の續々。  
 第二日 前日の續々。  
 (宿題、正敷素縫五筋)
- 第拾三週  
 第一日 前週の續々。  
 第二日 前日の續々。  
 (宿題、一ツ身單衣算式、野引)
- 第拾四週  
 第一日 前週の續々。  
 第二日 前日の續々。  
 (宿題、一ツ身單衣、裁方)
- 第拾五週  
 第一日 前週の續々。  
 第二日 前日の續々。  
 (宿題、補綴)
- 第拾六週  
 第一日 前週の續々。  
 第二日 前日の續々。

尋常四學年第二學期間の教授、練習度數表

科目	回数	教授練習宿題 合計		
		器具材料の整理と講話。	通常素縫之速針素縫。	通常素縫之斜線素縫。
素縫	—	參回 壹回 四回	—	參回 壹回 四回
縫練	—	參回 壹回 四回	—	參回 壹回 四回
習	—	貳回 壹回 參回	—	貳回 壹回 參回
袖口かけ練習。	—	貳回 壹回 參回	—	貳回 壹回 參回
しつけ、くけ練習。	—	貳回 壹回 參回	—	貳回 壹回 參回
單衣脇ごじ練習。	—	貳回 壹回 參回	—	貳回 壹回 參回
補綴、縫、練習。	—	貳回 壹回 參回	—	貳回 壹回 參回
一ツ身單衣實物裁縫の練習	—	壹回 <sup>十時間</sup> 壹回 參回	—	壹回 壹回 參回
三ツ身單衣裁方算式、教授練習	壹回	—	壹回 貳回	壹回 壹回 參回
三ツ身單衣裁方算式、裁方算式、教授練習	壹回	—	壹回 貳回	壹回 壹回 參回
三ツ身單衣裁方算式、教授練習	壹回	—	壹回 貳回	壹回 壹回 參回



尋常四學年第三學期。

一、二、三、の三ヶ月間。

此の教授週拾壹週。

第壹週

第一日 器具材料の整理と講話。

第二日 通常素縫と速針素縫。袖口かけ 練習(教具) 掛圖 素縫きれ。

第貳週

第一日 通常素縫と速針素縫。單衣くけ方、(教具) 掛圖 素縫きれ。

第二日 通常素縫と弓狀素縫。内しつけ、外しつけ、練習(教具) 掛圖 素縫きれ。  
(宿題、袖口かけ)

第參週

第一日 三ツ身單衣積り方算式、裁方對引、教授。(教具) 特製手帖。

第二日 三ツ身單衣裁方、範標附教授(教具) 縮尺と古新聞紙。  
(宿題、單衣くけ方)

第四週

第一日 一ツ身單衣實物裁縫の練習。(材) 實物用布。掛圖。

第二日 前日の續き。(宿題、正敷素縫五筋)

第五週

第一日 前週の續き。(宿題、單衣脇とし)

第二日 前日の續き。

第六週

第一日 前週の續き。(宿題、正敷素縫五筋)

第二日 前日の續き。

第七週

第一日 前週の續き。(宿題、三ツ身單衣裁方範標附)

第二日 前日の續き。

第八週

第一日 前週の續き。(宿題、三ツ身單衣裁方範標附)

第二日 前日の續き。

第九週

第一日 三ツ身單衣積り方算式、裁方對引。(教具) 特製手帖。

第二日 三ツ身單衣、裁方範標附練習。(教具) 縮尺と古新聞紙。  
(宿題、補綴)

第十週

第一日 通常素縫と弓狀素縫。單衣くけ方、練習(教具) 掛圖と素縫きれ。

第二日 通常素縫と速針素縫。補綴 練習(教具) 掛圖と素縫きれ。  
(宿題、正敷素縫五筋)



## 教授の方法。

四學年第壹學期に於ては、小裁襦袢の裁方、笠標附縫方等に關する部分が新規教授の部に屬しますが、其の裁方、笠標附等に關する準備教授としては、縮尺と用紙を以て教授、練習を爲さしめ、又、總合縫は實物用布を使用せしむるので有ますが、其の要点は掛圖を示して、知得せしむるので御座います。素縫を始め、前年度の練習に屬する類ひも、又同様掛圖を使用して、練習せしむるので御座いますが、生徒の方は、單に素縫ぎれを以て、稽古材料と致すので御座います。

又二學期、三學期の教授科目は大部分、前年、前期の練習に屬する者で御座いますから説明は省略致します、而して本學期に至りましての新規教授に屬する類ひは、一ツ身三ツ身單衣の裁方、笠標附及縫方の教授、練習で御座いますが、是れとて教授の方法は大同小異で御座いますから、畧します。

唯茲に少しく注意を喚起し、おき度ことは、素縫の練習で御座います、本學年に至りますると、實物裁縫が加はりますので、却々時間を要しますから、自然素縫練習の時間を減却する様な事に立ち至りますから、常に素縫練習と云ふ事に深き注意を拂はれ度もので御座います、而して兎も角も、四學年の終りまでに、是れだけの科目を、完全に

教授、練習せしめて、技術の發達と共に、全級生徒の腦裡へ、類化せしめ、理解せしむる事が、出來たとすれば、夫れは全く、掛圖、手帳、縮尺等の力で有と申さねば相成ませぬ、故に篤と此の点に、感慮を煩はされ度もので御座います。

## 宿題と手帳の關係。

豫て尋常三學年の當時に於ても、縷述致しおきました通り、教授は訓練をかね、訓練は教授をかねると申す通り、何れの學科に致しましたも、其の事を能く生徒の腦裡へ類化し、理解せしめんと致しますれば、是非々々練習に練習を重ねさせまして、頭腦に相當の餘裕を生じ來りましたる後、茲に始めて身心の陶冶、即ち精神教育にまで力を致す事が出来るので御座います、然しながら、限りある時間を以て、限りなき練習を試みると云ふ事は、絶対に不可能の事に屬します、夫れゆへ、誠、肝要の種類だけ教場を練習を致させまして、其の他の部分は、成るべく宿題として課するの方針を執られたき者で御座います、是れは時間の經濟上止むを得ざる次第で御座います、併しながら、他學科と異なりまして、此の裁縫に屬するものを、一週一回位、宿題として課しました所で、生徒の体育上、何等の影響も生ずべき者では、斷じて御座いませぬ。

寧ろ生徒は手工でも致す様な心ろ持ちで、欣喜で、其の命令に従ひます、併しながら斯



の如く生徒の身心に、聊かも苦痛を感せしめずして、愉快に其の命令に應せしむる様に致すのには、學校で教へられし範圍の者は、自己の手帳を持ち出せば、直ちに參考と爲し得ると云ふ風に、完全なる手扣帳を常に所有致させ置く、必要が御座ひます。



尋常五學年第壹學期間の教授、練習度數表

科目	回数	
	教授	練習宿題合計
器具、材料の整理の講話。	壹回	壹回
	—	—
	—	—
通常素縫と速針素縫。	—	參回 壹回 四回
通常素縫と斜線素縫。	—	參回 壹回 四回
通常素縫と弓狀素縫。	—	貳回 壹回 參回
しつけ、くけ、練習。	—	貳回 壹回 參回
袖口かけ、練習。	—	貳回 壹回 參回
補綴、練習。	—	貳回 壹回 參回
縮入くけ方、練習。	—	貳回 壹回 參回
一ツ身單衣裁方笠標附教授練習。	—	壹回 壹回
三ツ身單衣裁方、笠標附練習。	—	壹回 壹回
四ツ身單衣裁方、方算式、單引、教授練習。	壹回	壹回 貳回
四ツ身單衣裁方笠標附教授練習。	壹回 壹回 壹回	參回
三ツ身單衣實物裁縫の教授練習。	壹回 壹回 壹回	貳回
四ツ身單衣實物裁縫の教授。	壹回 壹回 壹回	壹回
裙部分縫、教授と練習。	壹回 壹回 壹回	貳回



尋常五學年第壹學期。

四、五、六、七、の四ヶ月間。

此の教授週拾六週。

第一週

第一日 器具材料の整理と講話。  
第二日 通常素縫と速針素縫。しつけ、くけ 練習(材)素縫され。  
第三日 通常素縫と斜線素縫。袖口かけ、練習(材)素縫され。  
(宿題、正敷素縫五筋)

第二週

第一日 四ツ身單衣積り方、算式、裁方、罫引教授。(具)特製手帳。  
第二日 四ツ身單衣裁方、範標附、教授。(教材)縮尺と古新聞紙。  
第三日 通常素縫と弓狀素縫。補綴 練習(材)素縫され。  
(宿題、單衣くけ方)

第三週

第一日 三ツ身單衣實物裁縫の教授。(教材)實物用布、掛圖。  
第二日 前日の續き。第三日 前日の續き。(宿題、一ツ身單衣裁方、範標附)  
第一日 前週の續き。第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。(宿題、袖口かけ)

第四週

第五週

第一日 前週の續き。第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。(宿題、袖口かけ)

第六週

第一日 前週の續き。  
第二日 裙、部分縫教授。(教材)掛圖 第十七面 第十八面 第十九面 部分縫され。  
第三日 前日の續き。(宿題、三ツ身單衣裁方、範標附)

第七週

第一日 前週の續き。第二日 前日の續き。  
第三日 通常素縫と速針素縫。單衣脇さじ 附紐かさり(材)素縫され。

第八週

第一日 裙、部分縫。練習(教材)掛圖、部分縫され。  
第二日 前日の續き。第三日 前日の續き。  
(宿題、補綴)

第九週

第一日 四ツ身單衣裁方、範標附練習。(教材)縮尺と古新聞紙。  
第二日 通常素縫と斜線素縫。しつけ、くけ、練習(材)素縫され。  
第三日 通常素縫と弓狀素縫。袖口かけ、練習(教材)素縫され。  
(宿題、正敷素縫七筋)



第十週

第一日 三ツ身單衣實物裁縫の練習。(材教)  
 第二日 前日の續き。  
 第三日 前日の續き。 實物用布。

第拾一週

第一日 前週の續き。  
 第二日 前日の續き。  
 第三日 前日の續き。(宿題、單衣脇こし)

第拾二週

第一日 前週の續き。  
 第二日 前日の續き。  
 第三日 前日の續き。(宿題、附紐、かんこ)

第拾三週

第一日 四ツ身單衣實物裁縫の教授。(材教) 實物用布。  
 第二日 前日の續き。  
 第三日 前日の續き。

第拾四週

第一日 前週の續き。  
 第二日 前日の續き。  
 第三日 前日の續き。(宿題、四ツ身單衣裁方、籠標附)

第拾五週

第一日 前週の續き。  
 第二日 前日の續き。  
 第三日 前日の續き。

第拾六週

第一日 前週の續き。  
 第二日 通常素縫と速針素縫。  
 第三日 通常素縫と斜線素縫。  
 練習(材教) 素縫され。  
 練習(材教) 素縫され。

尋常五學年第二學期間の教授、練習度數表

科目	回数	
	教授	練習宿題合計
器具材料の整理。	壹回	—
素縫練習	通常素縫と速針素縫。	— 貳回 壹回 參回
	通常素縫と斜線素縫。	— 貳回 壹回 參回
	通常素縫と弓狀素縫。	— 貳回 壹回 參回
こつけ、くけ、練習。	— 貳回 壹回 參回	
袖口かけ、練習。	— 貳回 壹回 參回	
單衣脇こし、練習。	— 貳回 壹回 參回	
單衣袖部分縫、練習。	— 壹回 壹回 貳回	
丸袂造り方、教授と練習。	壹回 壹回 貳回	
綿入袖、部分縫、教授と練習。	壹回 壹回 貳回	
四ツ身單衣裁方籠標附教授と練習。	— 壹回 壹回 貳回	
四ツ身單衣實物裁縫の練習。	— 壹回 壹回 貳回	
裙、部分縫、練習。	— 壹回 壹回 貳回	
三ツ身綿入裁方野引、教授と練習。	壹回 壹回 貳回	
三ツ身綿入實物裁縫の教授。	壹回 壹回 參回	
一ツ身綿入裁方籠標附教授と練習。	壹回 壹回 參回	
三ツ身綿入實物裁縫の教授。	壹回 壹回 參回	
本裁單衣裁方野引、教授と練習。	壹回 壹回 參回	



新教授要書  
尋常五學年第二學期。

九、十、十一、十二、の四ヶ月間。

此の教授週拾六週。

第壹週

第一日 器具材料の整理と講話。  
第二日 通常素縫と速針素縫。しつけ、くけ、練習(材)素縫され。  
第三日 單衣袖部分縫 練習(材)素縫され。

第貳週

第一日 丸袂造り方教授。(教材)掛圖 第拾五面 素縫され。  
第二日 丸袂造り方練習。(教材)掛圖 第拾五面 素縫され。  
第三日 通常素縫と速針素縫。しつけ、くけ、練習(材)素縫され。  
(宿題、正敷素縫七筋)

第參週

第一日 綿入袖部分縫教授。(教材)掛圖 第拾五面 部分縫され。  
第二日 前日の續き。 第三日 前日の續き。  
(宿題、しつけ、くけ)

第四週

第一日 前週の續き。(宿題、單衣袖部分縫)  
第二日 通常素縫と斜線素縫。袖口かけ、練習(材)素縫され。  
第三日 四ツ身單衣裁方、範標附練習。(教材)縮尺と素縫され。

第五週

第一日 四ツ身單衣實物裁縫の練習。(材)實物用布。  
第二日 前日の續き。 第三日 前日の續き。  
(宿題、四ツ身單衣裁方、範標附)

第六週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。(宿題、正敷素縫七筋)

第七週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。(宿題、袖口かけ)

第八週

第一日 通常素縫と弓狀素縫。綿入くけ方(材)素縫され。  
第二日 一ツ身綿入積り方算式、裁方引教授。(具)特製手帳。  
第三日 一ツ身綿入裁方、範標附教授。(教材)縮尺と古新聞紙。  
(宿題、一ツ身綿入算式、引)



第九週

第一日 裾、部分縫 練習 (教具) 掛圖  
第二日 前日の続き。 第三日 前日の続き。

(宿題、裾、部分縫)

第拾七面 第拾八面 第拾九面

部分縫きれ。

第十週

第一日 一ツ身綿入實物裁縫の教授。(材) 實物用布。  
第二日 前日の続き。 第三日 前日の続き。

(材) 實物用布。

第十一週

第一日 前週の続き。 第二日 前日の続き。  
第三日 前日の続き。

(宿題、正敷素縫七筋)

第十二週

第一日 前週の続き。 第二日 前日の続き。  
第三日 前日の続き。

(宿題、綿入くけ方)

第十三週

第一日 前週の続き。 第二日 前日の続き。  
第三日 前日の続き。

(宿題、單衣脇まじ)

第十四週

第一日 前週の続き。 第二日 前日の続き。  
第三日 前日の続き。

(宿題、本裁單衣算式、野引)

第十五週

第一日 前週の続き。  
第二日 通常素縫と斜線素縫。しつけ、くけ、練習 (材) 素縫きれ。  
第三日 一ツ身綿入裁方、範標附練習。(教具) 縮尺と古新聞紙。

第十六週

第一日 本裁單衣積り方算式、裁方野引教授。(具) 特製手帳。  
第二日 前日の続き。 練習 (材) 素縫きれ。  
第三日 通常素縫と弓状素縫。袖口かけ、練習 (材) 素縫きれ。





尋常五學年第三學期間の教授、練習度數表

科 目	回 數			合 計	
	授 教	練 習	宿 題		
器具、材料の、整理と、講話。	壹回	—	—	壹回	
習練縫素	通常素縫と速針素縫。	—	貳回	壹回	參回
	通常素縫と斜線素縫。	—	貳回	壹回	參回
	通常素縫と弓狀素縫。	—	壹回	壹回	貳回
襪、くけ、練習。	—	貳回	壹回	參回	
本袖口かけ、練習。	—	壹回	壹回	貳回	
丸袂造り方、練習。	—	壹回	壹回	貳回	
袖、部分縫練習。	—	壹回 <sup>三時間</sup>	壹回	貳回	
裾、部分縫練習。	—	壹回 <sup>三時間</sup>	壹回	貳回	
三ツ身綿入 <sup>裁方算式、裁方詳引、</sup> 教授と練習。	壹回	壹回	壹回	參回	
三ツ身綿入裁方、範標附教授と練習	壹回	壹回	壹回	參回	
三ツ身綿入實物裁縫の教授。	壹回 <sup>十六時間</sup>	—	—	壹回	
小裁單衣裁方、範標附要所質問。	壹回	—	—	壹回	

尋常五學年第三學期。

一、二、三の三ヶ月間。

此の教授週拾壹週。

第壹週

第一日 器具、材料の整理と講話。  
 第二日 通常素縫と速針素縫。しつけ、くけ、練習(材教)素縫され。  
 第三日 通常素縫と斜線素縫。本袖口かけ、教授(材教)素縫され。

第貳週

第一日 綿入袖部分縫教授。(教具)掛圖 部分縫され。  
 第二日 前日の續き。 第三日 前日の續き。  
 (宿題、正敷素縫七筋)

第參週

第一日 三ツ身綿入積り方算式、裁方詳引教授。(具)特製手帳。  
 第二日 三ツ身綿入裁方、範標附教授。(教具)縮尺と古新聞紙。  
 第三日 三ツ身綿入裁方、範標附練習。(教具)縮尺と古新聞紙。  
 (宿題、しつけ、くけ)



第四週

第一日 裙、部分縫。(教材) 掛圖 第十七面 第十八面 第十九面 素縫き。第二日 前日の續き。 第三日 前日の續き。

(宿題、綿入袖部分縫)

第五週

第一日 三ツ身綿入實物裁縫の教授。(教材) 實物用布。第二日 前日の續き。 第三日 前日の續き。

(宿題、三ツ身綿入算式、罫引)

第六週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。 第三日 前日の續き。

(宿題、正敷素縫七筋)

第七週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。 第三日 前日の續き。

(宿題、本袖口かけ)

第八週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。 第三日 前日の續き。

(宿題、裙部分縫)

第九週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。 第三日 前日の續き。

(宿題、三ツ身綿入裁方、罫標附)

第十週

第一日 前週の續き。(宿題、正敷素縫七筋) 第二日 通常素縫と速針素縫。しつけ、くけ、練習 (教材) 素縫き。第三日 通常素縫と斜線素縫。本袖口かけ、練習 (教材) 素縫き。

第十一週

第一日 三ツ身綿入算式、罫引。(教材) 掛圖 第拾五面 素縫き。第二日 通常素縫と弓狀素縫。丸袂造り方、練習 (教材) 素縫き。第三日 小裁、裁方、罫標附、要所質問。





## 教授方法。

尋常五學年第壹學期に於ける新規教授の類ひは、三ツ身、四ツ身、單衣の裁方、範標附及縫方等で有りますが、是れは何れも、實物材料を以て、教授、練習を爲さしむるので御座ひます。又裁方、範標附等の準備教授の方法は、一ツ身、三ツ身の教授と大同小異で御座ひますから説明は省略致します。

又第二學期の主要なる教授、練習科目は、一ツ身、綿入、四ツ身、單衣等の、教授、練習から、袖裙等の部分縫教授で御座ひますが、就中此の袖裙等の教授は、随分至難の者で御座ひますから、從來の如く、掛圖一つ使用せずして、個人的に教授する事と、致しましたならば、徒らに時間を空費するに止り、何等の効果をも奏し得らるべき者では御座ひませぬ。然れば、如何なる方法よれば、極めて時間を節約して、全級生徒へ一齊に教授する事が、出來得るかと申すすれば、次の如き方法によるので御座ひます。

先づ教師の方は、教授用の掛圖と裙形とを用意し、又生徒の方は、普通裁縫道具は勿論他かに半巾五六寸のきれ二枚(裏一枚)を用意致させまして(裙形は教師の方より全級生徒へ貸與する事)夫れより教師先づ、左の順序を以て、黑板に圖解し、其の圖に因て、表裙の範標附を爲さしめ、次で裏裙の範附方法を教ゆるので御座ひますが、先づ其の順序はと申すれば、(1)布曲りを

正す方法圖(2)衿巾を極めし圖(3)表切さげの爲め裙形を當てし圖(4)表切さげの範標せし圖(5)表切さげを爲せし圖(6)表裙縫代の爲め再び裙形を當し圖(7)表裙縫代の範標せし圖、次は又裏裙の巾を極めし圖、裏裙縫代の爲め、裏裙形をあてし圖、又其の次は裏裙縫代の範標せし圖、先づ是れだけの圖を順次黑板へ画きつゝ、表裏全体の範標附方法を教授致すので御座ひます。

而して其の範標附を終りせしなれば、夫れと同時に、縫方教授に移るので御座ひますが、其の縫方教授は、掛圖を基として左の順序に因て教授するので御座ひます。

(1)裏裙の縫縮めの仕方、(2)裙先と衿附と、いせ込の範との三ヶ所へ待針を打たせ、(3)裙先の針と、いせ込の針との間へ同じく三本の針を打たせ、(4)衿附と、いせ込との間へ又々一二本の針を打たせ、(5)裙を縫はす必ず表を、(6)内襷を爲さしむ、(7)裙下の方を縫はしむ、(8)綿を造らしむ、(9)綿を入れさす、(10)引返して裾とじを爲さしむ、(11)かすがい綴を爲さしむ。

而して教授の仕方は、掛圖に因て一手一手懇篤に説明を與へて、全級一齊に其の方法を執らしめつゝ、教師は斷へず全級を巡廻して、其の誤りを正し、或は全く手を下し得ざる者のみの机邊に着き、個人的に教授するので有ります。斯様に致しますれば、一人



として不理解的の者を生ぜしめざるのみならず、大部分の生徒は、掛圖に因て其の方法を試み様と、心を用いて居りますから、唯の一人たりとも、手を空しゆうして居る者は御座いませぬ、夫れゆへ理解力の發達と共に、非常に時間を節約し得るので御座います。次は

### 綿入袖部分縫教授

で御座いますが、其の順序は(1)表袖の置方圖を画きて、全級生徒に其如くおかしめ、夫れと同時に其の中へ。(2)袖丈、袖口、袖附、袖巾、袖山と(丸袂のへら)云ふ順で順次標しを附け、一々説明を與へて、全級生徒に其の如く、窺附を實行せしむるのであります。

次は左の向ふの處へ袖口ぎれを載せたる處の裏袖の圖を画き、全級生徒に其の如く正敷をかしめ、夫れより第二圖を画きて(1)袖丈、(2)袖口、(3)袖付、(4)袖巾、(5)袖山、(6)袖口ぎれの丈一ばいのへら、(7)袖口ぎれの巾一ばいのへら、(8)袖口ぎれ山のへらと云ふ順序で、一ト手、一ト手に、全級生徒へ其の方法を説明して、實行せしむるのであります。

而して其の窺標附を終了致しましたなれば、次は縫方教授で御座いますが、其の縫方

教授は掛圖を基として、先づ袖口掛を爲さしめ、次に袖尻を縫はしめ、夫れより綿造りして袖口、振に、綿をふくませ、同時に夫れを綴じさせ、次は表袖の袖尻を縫はしめ、夫れより袖口の處の四ツ止を爲さしめ、次で袖口をくけ又振をくけしむるので御座います、然しながら従來の如く、掛圖一ツ使用せずして、四十人五十人の一團體へ、僅に四十分と云ふ、尠少の時間を以て、全級一済に教授致さんとするは、木に依て魚を求むるに等しき望で御座いますから、到底完全に教授し得らるべき者では御座いませぬ、假令前述の如く、掛圖を使用して教授致しまして、袖口の處の四ツ止の如きは、却々其の方法を理解さすのに困難致します位いで御座います、増して掛圖一つ使用せず、に教授すると云ふ事は、徒らに時間を空費するに止り、何等の效果をも奏し得らるべき者で御座いませぬ、夫れゆへ此の点に付ても大いに考慮を煩し度もので御座います。

又第三學期に至つての、新規教授に屬する部分は一ツ身綿入の裁方窺標附及縫方で有りますが、裁方窺標附に附ては、單衣當時と同様黑板へ圖解して、其の方法を教授するので有ります、又縫方に附ては、無論掛圖を使用して教授するので御座います、而して其の教授の仕工合は、單衣當時と大同小異で御座いますから、其の説明は省略致します。



▲備考 (其一)

掛圖の必要

先づ是れで尋常五學年の科程は、終了したので御座いますが、本學期中で、一番至難なるは綿入の縫方教授で御座います。故に前學年度より教授練習を爲し來り居る處の袖、裙等の成績が可なり上達致し居る様でない。教授上非常に困難を感ずる様に、立ち至りますから、最初より其の心して、袖、裙等の部分縫教授のため、努力致され度もので御座います。假令夫れ等の事を、相當に理解し居ると致しましても、綿入の總合縫となる。却々困難の者で御座いますから、やはり掛圖を使用して教授上の補佐と致すべきで御座います。

▲備考 (其二)

如何にせば此の至難なる裙や袖口。

の教授を容易に爲し得べきかと申する。前にも述べました通り本學期中で一番至難なる科目は綿入袖の部分縫と、裙の部分縫とで御座います。最も此の綿入袖の如

きは、半既知の部に屬する譯では御座いますが、其の残りの未知の部分には、四ツ止、袖口、け方等の如き、最も至難の箇所が御座いますから、假令掛圖の如きを使用して、教授の補助と致しました處で、却々困難の事で御座います。就中、裙の部分縫に至りましても、一層困難の度が甚敷きもので御座います。夫れを掛圖一ツ用いずして、四五十人の生徒を一團と爲して、一週僅かに三時間と云ふ極めて僅少の時間を以て、全級一齊に教授致そうとするは、絶対に不可能の事で御座います。最も時間の經濟と申す事を念頭におかずして、日頼香匠的、十日に九里半的に、片隅の方からポツ／＼と教授して出ると致しましたなら、出來ぬ譯けも御座いませぬが、夫れでは、全級生徒をして、徒らに時間を空費せしむるのみならず、僅かに此の裙、部分縫とか、綿入袖、部分縫とか云ふ一小部分の爲に、三ヶ月も、四ヶ月も費やす様の事となります。此くては、他の種類の教授も練習も、爲さしむる事は出來なく成ますから、教授上非常の不利益となるので有ます。篤と其の点に考慮を煩し度もので御座います。

▲備考 (其二)

裙形の使用に付て



豫て御承知の通り一週三時間と云ふ、極めて僅少の時間を以て、此の至難なる教授の効果を、善良ならしめんと致しますれば、勢い教材教具の撰擇に付きましても、十二分の研究を要する次第で御座います。前記の裙部分縫教授を致すに望みましても、裙形を使用せしむる点に付きましても、ある一部の方面では、裙形を使用せしむると、其の習慣が附きますから、私しは一切使用致させぬなど、申して、得々たる方も御座います。夫れは餘りに思慮の浅い御考へで有と申さねば相成ませぬ、試みに是れを他學科の教授に比較致して見ましても、直ぐ解かる話して御座います。仮令ば圖画や習字の教授を致すのに、引き寫しを爲さしむるが如きは、或る意味より申せば、宜敷ないとも申せませんが、而しながら、字格を正し、位置を正す習慣を附ける上に於て、非常に利益で有として、現今大いに其の方法を採用せられて居るでは御座いませぬか、夫れと同じ理屈で、表裙の切り下げの工合は、こんな風にして、又裏裙の格好は、こんな工合に範標附けて、と云ふ風に、眼と手の練習を附けると云ふ事は、非常な利益で有ます。然標にして、稍や上達の時機に到達せしめ得たる後ち、茲に始めて何分の襷に對しては、表裙は何分何厘の切り下げにして、又裏裙の方は何分何厘とすべきで有と云ふ様な工合に表裏の割り出し方法を教ゆると同時に、從來裙形を使用して眼と手の習慣を附け來たりたる力を利用して、形を用いずに、表裏の範標附を爲さしむる様にすべき

で有りませぬ。

是れを教育學的口調で申ますれば、易より難に、簡より繁に、と申ますが如く、始めは成べく教授し易く、行い易き方法によりまして、順次其の歩を進めたる後ち、生徒の實力相當の方法を執ると云ふ様な工合も、致さなくてはならぬ者で御座います。夫れゆへ我濟しは、初進の生徒に對しては、裙形を使用せしむる方が、有利である。と云ふ事を極力主張致します。又時間の節約と、掛圖を使用して、全級一済に教授すべき事をも、極力主張致します。希くは、少しも私心を差し狭ますに、公平無私で、靜か又我濟しの主張が條理か不條理かに付き、篤と考慮を煩はされん事を、切望の至りに堪へませぬ。





尋常六學年第壹學期間の教授、練習度數表

科 目	回 數	教 授	練 習	宿 題	合 計
器具材料の整理。		壹回	—	—	壹回
素縫練習	通常素縫と速針素縫。	—	貳回	壹回	參回
	通常素縫と斜線素縫。	—	貳回	壹回	參回
しつけ、くけ、練習。		—	壹回	壹回	貳回
本袖口かけ、練習。		—	貳回	壹回	貳回
附紐かざり、練習。		—	壹回	壹回	貳回
三ツ身単衣裁縫、範標附、練習。		—	—	壹回	壹回
本裁女物單衣裁方野引、教授と練習。		壹回	—	壹回	貳回
本裁女物單衣裁方範標附、教授と練習。		壹回	—	壹回	貳回
四ツ身綿入裁方野引、教授と練習。		壹回	—	壹回	貳回
四ツ身綿入裁方、教授と練習。		壹回	壹回	壹回	參回
四ツ身綿入裁物の教授と練習。		十六時 壹回	十五時 壹回	壹回	參回
本裁女物單衣縫方説明教授。		壹回	—	—	壹回
衿袖、部分縫教授と練習。		三時 壹回	三時 壹回	—	參回
綿入袖、部分縫、練習、		—	—	壹回	壹回
裾、部分縫、練習。		—	—	壹回	壹回

尋常六學年第壹學期。

四、五、六、七、の四ヶ月間。

此の教授週拾六週。

第壹週

第一日 器具、材料の整理と講話。  
 第二日 通常素縫と速針素縫。しつけ、くけ、練習 (材) 素縫きれ。  
 第三日 本裁女物單衣積り方算式、裁方算引教授。 (具) 特製手帳。

(宿題、三ツ身單衣、裁方、範標附。)

第貳週

第一日 衿袖部分縫教授。 (教材) 掛圖 第貳拾面 部分縫きれ。  
 第二日 前日の續き。 第三日 前日の續き。

(宿題、しつけ、くけ)

第參週

第一日 衿袖、部分縫。 (教材) 掛圖 第十五面 部分縫きれ。  
 第二日 前日の續き。 第三日 前日の續き。

(宿題、本裁女物單衣算式算引)



第四週

第一日 通常素縫と斜線素縫。本袖口かけ、練習(材教)素縫きれ。  
第二日 本裁女物單衣裁方、篋標附、教授。(教材)縮尺と古新聞紙。  
第三日 四ツ身綿入積り方算式、裁方罫引教授。(具教)特製手帳。  
(宿題、正敷素縫七筋)

第五週

第一日 四ツ身綿入裁方、篋標附教授。(教材)縮尺と古新聞紙。  
第二日 四ツ身綿入裁方、篋標附練習。(教材)縮尺と古新聞紙。  
第三日 四ツ身綿入實物裁縫の教授。(材教)實物用布。  
(宿題、本裁女物單衣裁方、篋標附)

第六週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。  
(宿題、綿入袖部分縫)

第七週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。

第八週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。  
(宿題、裙、部分縫)

第九週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。

第十週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。  
(宿題、正敷素縫七筋)

第十一週

第一日 四ツ身綿入實物裁縫の練習。(材教)實物用布。  
第二日 前日の續き。 第三日 前日の續き。  
(宿題、袴袖、部分縫)

第十二週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。

第十三週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。  
(宿題、四ツ身綿入裁方、篋標附)

第十四週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。  
(宿題、本袖口かけ)



第十五週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。

(宿題、附紐がさり、背守)

素縫きされ。

第十六週

第一日 通常素縫と速針素縫。附紐がさり、背守縫方 (材) 素縫きされ。  
第二日 本裁女物單衣縫方説明教授。  
第三日 通常素縫と斜線素縫。(材) 素縫きされ。



尋常六學年第一學期間の教授、練習度數表

科・目	回数		教授練習宿題合計
	素縫	練習	
器具、材料の整理と講話。	一回	一回	一回
通常素縫と速針素縫。	一回	一回	一回
通常素縫と弓狀素縫。	一回	一回	一回
襪、くけ、練習。	一回	一回	一回
本袖口かけ、練習。	一回	一回	一回
一ツ身單衣實物裁縫の練習。	一回	一回	一回
四ツ身單衣實物裁縫の練習。	一回	一回	一回
本裁男物單衣裁方算式、教授練習。	一回	一回	一回
本裁男物單衣裁方範標附教授練習	一回	一回	一回
三ツ身衿、實物裁縫の教授練習。	一回	一回	一回
衿袖、部分縫、練習。	一回	一回	一回
衿、部分縫、練習。	一回	一回	一回



尋常六學年第二學期。

九、十、十一、十二の四ヶ月間。

此の教授週拾六週。

第一週

第一日 器具、材料の整理と講話。  
第二日 一ツ身單衣實物裁縫の練習。  
第三日 前日の續き。

第二週

第一日 前週の續き。  
第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。

(宿題、衿袖)

第三週

第一日 前週の續き。  
第二日 前日の續き。  
第三日 通常素縫と速針素縫。しつけ、くけ、練習(材)素縫され。

第四週

第一日 四ツ身單衣實物裁縫の練習。(材)實物用布。  
第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。

(宿題、裾部分縫)

第五週

第一日 前週の續き。  
第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。

第六週

第一日 前週の續き。  
第二日 前日の續き。  
第三日 本裁男物單衣積り方算式、裁方罫引教授。

(宿題、正敷素縫七筋)

第七週

第一日 三ツ身拾、實物裁縫の教授。(材)實物用布。  
第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。

第八週

第一日 前週の續き。  
第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。

(宿題、しつけ、くけ)

第九週

第一日 前週の續き。  
第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。

(宿題、本裁男物算式罫引)

第十週

第一日 前週の續き。  
第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。

第十一週

第一日 前週の續き。  
第二日 前日の續き。  
第三日 通常素縫と弓狀素縫。本袖口かけ、練習(材)素縫され。



第十二週

第一日 三ツ身袷物裁縫の練習。(教材) 實物用布。  
 第二日 前日の續き。 第三日 前日の續き。

(宿題、本裁男物單衣裁方、笥標附)

第拾三週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
 第三日 前日の續き。

(宿題、正敷素縫七筋)

第十四週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
 第三日 前日の續き。

(宿題、本袖口かけ)

第十五週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
 第三日 前日の續き。

第十六週

第一日 前週の續き。  
 第二日 本裁男物單衣裁方、笥標附教授。(教材) 縮尺と古新聞紙。  
 第三日 前日の續き。

尋常六學年第二學期間の教授、練習度數表

科目	回数	
	教授	練習宿題合計
器具、材料の整理と講話。	壹回	壹回
一ツ身襦袢の裁方、笥標附練習。	—	壹回
三ツ身襦袢の裁方、笥標附練習。	—	壹回
四ツ身襦袢の裁方、笥標附練習。	—	壹回
本裁襦袢の裁方、笥標附練習。	—	壹回
一ツ身單衣裁方、笥標附練習。	—	壹回
三ツ身單衣裁方、笥標附練習。	—	壹回
四ツ身單衣裁方、笥標附練習。	—	壹回
本裁女物單衣裁方、笥標附練習。	—	壹回
本裁男物單衣裁方、笥標附練習。	—	壹回
一ツ身綿人實物裁縫の練習。	—	壹回
三ツ身袷物裁縫の練習。	—	壹回
四ツ身單衣實物裁縫の練習。	—	壹回



尋常六學年第三學期。

一、二、三、の三ヶ月間。

此の教授週拾壹週。

第壹週

第一日 器具、材料の整理と講話。  
第二日 三ツ身單衣裁方、範標附、練習。(教具)縮尺と古新聞紙。  
第三日 本裁女物單衣裁方、範標附練習。(教具)縮尺と古新聞紙。

第貳週

第一日 一ツ身綿入實物裁縫の練習。(材)實物用布。  
第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。(宿題、一ツ身襦袢裁方、範標附)

第參週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。(宿題、三ツ身襦袢の裁方、範標附)

第四週

第一日 前日の續き。 第二日 前日の續き。  
第三日 本裁男物單衣裁方、範標附教授。(宿題、四ツ身襦袢の裁方、範標附)

第五週

第一日 三ツ身袴、實物裁縫の練習。(具)實物用布。  
第二日 前日の續き。 第三日 前日の續き。

第六週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。(宿題、一ツ身單衣裁方範標附)

第七週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。(宿題、三ツ身單衣裁方範標附)

第八週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
第三日 前日の續き。(宿題、四ツ身單衣裁方範標附)

第九週

第一日 四ツ身單衣實物の練習。(材)實物用布。  
第二日 前日の續き。 第三日 前日の續き。(宿題、本裁女物單衣裁方範標附)

第十週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
第二日 前日の續き。(宿題、本裁男物單衣裁方範標附)

第十壹週

第一日 前週の續き。 第二日 前日の續き。  
第三日 前四年間の要所質問



## 教授方法

尋常六學年第一學期の、新規教授に屬する部分は、本裁女物長着の裁方、筐標附と、四ツ身綿入の裁方、筐標附及縫方の教授、練習とで御座ひますが、尙主なる練習科目としては、袖、裙、等の部分縫練習で御座ひます。

又第二學期中の、新規教授に屬する部分は、本裁男物長着の裁方、筐標附教授と、三ツ身袷の實物裁縫で御座ひます。又主なる練習科目としては、一ツ身、四ツ身の實物裁縫と袖、裙、等の部分縫で御座ひますが、何れも前年前期の智識を應用して、教授、練習を爲さしむる迄の事で御座ひますから、説明は省略致します。

併しながら各學年各學期に於ても、縷述致しおきました通り、斯科教授の効果を、善良ならしめんと致しますれば、是非共練習の度數を重ねしむると云ふ事が、主要事項で御座ひます。然しながら、既に時間と日數に限りがあるので御座ひますから、其の窮屈なる中より、人一倍の練習を爲さしめて、理想の成績を擧げよふと致します。そのは、教材教具の選擇は更なり、教授練習の方法も於ても、常に努力して、考究を怠らざる様に心懸けざれば、到底理想の効果を、奏し得らるべき者では御座ひませぬ。尙ほ一言申述べたきは、教場の事で御座ひますが、何れの學校でも、裁縫専用の教場を造られて

有るようて御座ひますが、夫れは誠に結構の事で御座ひます。併しながら、其教場は大てい座席に成て居る様で、御座ひますから、自然教師の動作が、活潑に参りませぬゆへ其の教場で總べての教授を致す事は、時間の節約上、餘り好まじからざる次第で御座ひます。故に座席教場では、尋常五學年以上の學科目たる處の、四ツ身以上、若しくは縮入物の、實物裁縫に關する時のみ、其の必要を感じますが、其の他の總べて、假令は素縫教授、各種分解教授、袖、裙、等の部分縫教授等を始として、縮尺、と縮尺相當用紙を以て裁方、筐標附等を、教授練習せしむる場合の如き、尙ほ一步を進めては、襦袢から一ツ身三ツ身單衣、位までの、實物裁縫の教授練習に至るまでの、範圍の者は總じて腰掛教場の方が、教場の整理もつき、教師の動作も活潑に出來ますから、自然生徒に對しても親切に行き亘りますし、随つて時間の節約上、非常の利便が御座ひます。故に爾來は成べく他學科の空き教室を利用し、即ち腰掛教場で、教授せらるゝ様致され度もので御座ひます。





掛圖問答

- 問、掛圖第壹面は如何なる用を爲しますか。
- 答、素縫の教授に關する全体の姿勢を教授する用具と致します。
- 問、第貳面は如何なる用を爲しますか。
- 答、素縫教授に關する手指の構へ工合と力の入れ工合と布を持ちての手指の構へ工合とを教授する用具と致します。
- 問、第參面上圖は如何なる用を爲しますか。
- 答、こぶ造りの方法を教授する爲に用ひます。
- 問、第參面左圖下圖は如何なる用を爲しますか。
- 答、縫始、縫止の方法を教授する爲に用ひます。
- 問、第四面右圖は如何なる用を爲しますか。
- 答、篋の持方仕方を教授する爲に用ひます。
- 問、第四面左圖は如何なる用を爲しますか。
- 答、待針の打方を教授する爲に用ひます。
- 問、第五面右圖は如何なる用を爲しますか。

- 答、内襲、外襲の仕方を教授する爲に用ひます。
- 問、第五面左圖は如何なる用を爲しますか。
- 答、單衣の裙先の折方を教授する爲に用ひます。
- 問、第六面上圖は如何なる用を爲しますか。
- 答、並はぎよりつなぎ等を教授する爲に用ひます。
- 問、第六面下圖は如何なる用を爲しますか。
- 答、割はぎの方法を教授する爲に用ひます。
- 問、第七面上圖は如何なる用を爲しますか。
- 答、はたむすびの方法を教授する爲に用ひます。
- 問、第七面下圖は如何なる用を爲しますか。
- 答、單衣くけ方の方法を教授する爲に用ひます。
- 問、第八面上圖は如何なる用を爲しますか。
- 答、綿入くけ方の方法を教授する爲に用ひます。
- 問、第八面下圖は如何なる用を爲しますか。
- 答、角袂、返し縫ひ等の方法を教授する爲に用ひます。
- 問、第九面上圖は如何なる用を爲しますか。



- 答、附紐がざりの方法を教授する爲に用ひます。
- 問、第九面下圖は如何なる用を爲すか。
- 答、袖口掛けの方法を教授する爲に用ひます。
- 問、第拾面上圖は如何なる用を爲しますか。
- 答、單衣脇とし背守縫方等の方法を教授する爲に用ひます。
- 問、第拾面下圖は如何なる用を爲しますか。
- 答、補綴の仕方を教授するため用ひます。
- 問、第拾壹面右圖は如何なる用を爲しますか。
- 答、綿入ふきとじの方法を教授致します。
- 問、第拾壹面左圖は如何なる用を爲しますか。
- 答、綿入たてとじの方法を教授する爲に用ひます。
- 問、第拾貳面は如何なる用を爲しますか。
- 答、襦袢衿付、衿先縫方を教授する爲に用ひます。
- 問、第拾參面は如何なる用を爲しますか。
- 答、襦袢衿くけ、袖付の教具に致します。
- 問、第拾四面は如何なる用を爲しますか。

- 答、小裁、袖附、衿附、衿先縫方の教具と致します。
- 問、第拾五面は如何なる用を爲しますか。
- 答、丸袂、袖口綿造り、袖口綿くゝり等を教授する爲に用ひます。
- 問、第拾六面は如何なる用を爲しますか。
- 答、袖口四ツ止、袖口くけ方教授用具と致します。
- 問、第拾七面は如何なる用を爲しますか。
- 答、裙部分教授の爲に用ひます。
- 問、第拾八面は如何なる用を爲しますか。
- 答、裙部分縫教授の爲に用ひます。
- 問、第拾九面は如何なる用を爲しますか。
- 答、裙部分教授の爲に用ひます。
- 問、第拾拾面は如何なる用を爲しますか。
- 答、衿袖、四ツ縫の方法を教授する爲に用ひます。
- 問、第拾拾壹面は如何なる用を爲しますか。
- 答、衿袖身頃、四ツ縫の方法を教授する爲に用ひます。





新教授要書

終り

大正六年五月廿三日印刷  
大正六年五月廿五日發行

裁縫術新教授要書

定價 金七拾錢



著者兼  
發行者

東洋女子大學創立委員長

小出 新次郎

東京市赤坂區丹後町十一番地

印刷者

諸橋 六右衛門

東京市京橋區元數寄屋町三丁目七番地

印刷所

三勇社印刷所

全

發行所

東京市赤坂區  
丹後町十一番地

東洋女子大學創立事務所內 出版部



東洋女子大學 創立委員長 小出新次郎著作考案

縫方教授用掛圖 四六全版 大掛圖 計貳拾壹面

▲割引特價一覽表▼

第壹輯七面特價 金貳圓五拾錢也

第一面 素縫全圖  
 第二面 同手指の構方  
 第三面 こぶ造り。縫始縫止。  
 第四面 篋の持方、仕方、待針、打方。

第五面 單衣裙先。内躰、外躰。  
 第六面 並はぎ、割はぎ、よりつなぎ。  
 第七面 單衣くけ方。はたむすび。  
 以上第壹輯分

第貳輯七面特價 金貳圓五拾錢也 但郵送費共

第八面 角たもこ。返しぬい。綿入くけ方。  
 第九面 袖口かけ。附紐かさり。  
 第十面 單衣脇とし。背守縫方。補綴仕方。  
 第十一面 綿入ふきとし。綿入たてとし

第十貳面 襦袢袖附。襦袢衿附。  
 第十參面 襦袢裙先。襦袢衿くけ。  
 第四十面 小裁袖附。衿附衿先。  
 以上第貳輯分

第三輯七面特價 金貳圓五拾錢也

第十五面 丸袂造り方。袖口綿造り。袖口綿くけ方。  
 第十六面 袖口四ツ止。袖口くけ方。  
 第十七面 裙造其の一。  
 第十八面 裙造其の二。

第十九面 裙造其の三。  
 第二十面 衿袖の造方。  
 第二十一面 衿袖、身頃の仕方。  
 以上第參輯

發行所 東京市赤阪區 丹後町拾一番地 東洋女子大學 創立事務所内 出版部



尋常三學  
年生徒用 裁縫專用手帳

全壹册

定價金八錢。割引金七錢 郵稅貳錢

但卅册以上取纏ノ申込ノ分ハ郵稅不用。

尋常四學  
年生徒用 裁縫專用手帳

全壹册

定價金九錢。割引金八錢 郵稅貳錢

但卅册以上取纏ノ申込ノ分ハ郵稅不用。

尋常五學  
年生徒用 裁縫專用手帳

全壹册

定價金拾錢。割引金九錢 郵稅貳錢

但卅册以上取纏ノ申込ノ分ハ郵稅不用。

尋常六學  
年生徒用 裁縫專用手帳

全壹册

定價金拾貳錢。割引金拾錢 郵稅貳錢

但卅册以上取纏ノ申込ノ分ハ郵稅不用。

發行所

東京市赤坂區  
丹後町十二番地

東洋女子大學

創立事務所內

出版部



263
3
128



終

